

注3

大学番号：国042

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

岐阜大学大学院 自然科学技術研究科

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人岐阜大学  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 工学部

職名・氏名 事務長補佐 伊藤 幸保

電話番号 058-293-2363

（夜間） 058-293-2363

F A X 058-293-2389

e-mail gjen00002@jim.gifu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 自然科学技術研究科

<生命科学・化学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	17
7. その他全般的事項	18

<生物生産環境科学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	20
2. 授業科目の概要	24
3. 施設・設備の整備状況、経費	27
4. 既設大学等の状況	28
5. 教員組織の状況	31
6. 留意事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

<環境社会基盤工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	39
2. 授業科目の概要	43
3. 施設・設備の整備状況、経費	46
4. 既設大学等の状況	47
5. 教員組織の状況	50
6. 留意事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	56

＜物質・ものづくり工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	58
2. 授業科目の概要	62
3. 施設・設備の整備状況、経費	65
4. 既設大学等の状況	66
5. 教員組織の状況	69
6. 留意事項等に対する履行状況等	75
7. その他全般的事項	76

＜知能理工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	78
2. 授業科目の概要	82
3. 施設・設備の整備状況、経費	85
4. 既設大学等の状況	86
5. 教員組織の状況	89
6. 留意事項等に対する履行状況等	95
7. その他全般的事項	96

＜エネルギー工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	98
2. 授業科目の概要	102
3. 施設・設備の整備状況、経費	105
4. 既設大学等の状況	106
5. 教員組織の状況	109
6. 留意事項等に対する履行状況等	114
7. その他全般的事項	115

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人岐阜大学

## (2) 大学名 岐阜大学

## (3) 大学の位置

〒501-1193  
岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
研究科長	ノノムラ シュウイチ 野々村 修一 平成29年4月		
専攻長等	イシダ ヒデハル 石田 秀治 平成29年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻 修士(応用生物科学) 修士(工学)	農学関係 工学関係	2年	82人	164人	基礎となる学部等 応用生物科学部 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成29年度	平成30年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	82人 ( ) [ - ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.09倍	
志願者数	107 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	102 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	100 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	90 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.09					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	90 [ 6 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	90 [ 6 ] ( - )		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	90 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	90 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                  ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<自然科学研究科 生命科学・化学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	実践英語	1・2通年	1		28 29	16 16					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	デザイン思考序論	1・2①,②	1		2 4	1	1			兼4	※1 教育効果を高めるため、担当教員追加(29) 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	Scientific Presentation	1・2③,④	1							兼2	※1 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	知財論	1・2①,②	1							兼4		
	科学者倫理	1・2③,④	1							兼4		
	デザイン思考トレーニング	1・2③,④	1		1			1		兼4	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	アカデミックキャリア	1・2通年	1		28 29	16 16					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターシップA I	1・2通年	1		28 29	16 16					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターシップA II	1・2通年	1		28 29	16 16					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターシップB I	1・2通年	2		28 29	16 16					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターシップB II	1・2通年	2		28 29	16 16					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	リーダーシップ入門	1・2②	1								兼5 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	Global Internship	1・2通年	2		28 29	16 16					※2 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
小計(13科目)	—	4	12	0	28 29	17 17			1	兼19	—	
横断科目	先端生命科学特論	1・2④	1								教育効果を高めるため、配当時期を変更(29) オムニバス	
	先端環境科学特論	1・2④	1							兼8	教育効果を高めるため、配当時期を変更(29) オムニバス	
	先端創薬科学特論	1・2④	1							兼8	教育効果を高めるため、配当時期を変更(29) オムニバス	
	小計(3科目)	—	2	1	0	8				兼16	—	
専門研究科目	特別研究	1・2通年	8		28 29	16 16	14 14				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 I	1・2通年	1		28 29	16 16	14 14				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 II	1・2通年	1		28 29	16 16	14 14				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 III	1・2通年	1		28 29	16 16	14 14				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 IV	1・2通年	1		28 29	16 16	14 14				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	特別講義 I	1・2集中	1							兼1	※1	
	特別講義 II	1・2集中	1							兼1	※1	
	特別講義 III	1・2集中	1							兼1	※1	
	特別講義 IV	1・2集中	1							兼1	※1	
	小計(9科目)	—	12	4	0	28 29	16 16	14 14			兼4	—
領域コア科目	生命工学創薬	生体高分子学特論	1・2②	1		28 29	16 16		1		※1	
		生命情報工学	1・2③	1		1					※1	
		生体応答論	1・2④	1		1	1					
		ゲノム科学	1・2④	1		1	1					
		環境分析化学	1・2③	1		1	1				隔年	
		Analytical Chemistry for Environmental Measurements	1・2③	1		1	1				隔年※2	
	生命工学化学	生体高分子学特論	1・2②	1		1	1				※1	
		生体触媒工学	1・2③	1		1	1				※1	
		ゲノム科学	1・2④	1		1	1					
		分子変換反応特論	1・2②	1		1	1					
		環境分析化学	1・2③	1		1	1				隔年	
		Analytical Chemistry for Environmental Measurements	1・2③	1		1	1				隔年※2	
	分子生命科学	有機化学特論 I	1・2①	1		2 4	2 4					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29)
		天然物化学特論	1・2①	1		2	1					※1
		生化学特論	1・2①	1		1	1					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29)
		応用微生物学特論	1・2①	1		1	1					※1
		Advanced Topics in Molecular Life Science: Biological Aspects	1・2①	1		4 6	2 4					オムニバス※2 担当教員の職名変更(昇任)(29)
		Advanced Topics in Molecular Life Science: Chemical Aspects	1・2②	1		4 6	4 6					オムニバス※2 担当教員の職名変更(昇任)(29)
	食品生命科学	食品科学特論	1・2①	1		2 4						※1 担当科目の専攻内調整のため担当教員変更(29)
		食品化学特論	1・2②	1		2 4						※1 担当科目の専攻内調整のため担当教員変更(29)
		食品工学特論	1・2①	1		1	1					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29)
		食品反応工学特論	1・2②	1		1	1					※1
		Advanced Topics in Food Chemistry	1・2①	1		5 7	1 1		2			オムニバス※2 担当教員の職名変更(昇任)(29)
		Advanced Topics in Food Engineering	1・2②	1		4			2			オムニバス※2
小計(24科目)	—	0	24	0	22 17	11 15		4		—		
領域コア科目	細胞情報学	1・2④	1		4 6						教育効果を高めるため、配当時期を変更(29) ※1	
	遺伝子発現工学	1・2③	1		1	1						
	分子設計学特論	1・2①	1		1	1						
	分子医学特論	1・2①	1		2 4						教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	医薬品化学特論	1・2②	1						1		隔年	
	Advanced Topics in Medicinal Chemistry	1・2②	1						1		隔年※2	
ナノ医療材料特論	1・2②	1		1	1	1				隔年		



専門科目	Advanced Topics in Nanomedicine	1・2②	1	1	↓	1			隔年※2	担当教員の職名変更(昇任)(29)
	バイオメテック化学特論	1・2①	1	1					※1	
	生物機能工学	1・2②	1	1					※1	
	放射光構造生物学	1・2②	1	1					※1	
	生体物理化学	1・2①	1	1					※1	
	有機典型元素化学特論	1・2③	1	1						
	遷移金属触媒化学特論	1・2①	1	1						
	計算化学特論	1・2①	1	1						
	生体分子有機化学特論	1・2④	1	1					隔年	
	Advanced Topics in Organic and Biomolecular Chemistry	1・2④	1	1					隔年※2	
	Bioanalytical Sciences	1・2④	1	1					※2	
	ケミカルバイオロジー特論	1・2③	1	2	↓	1	↓		※1	担当教員の職名変更(昇任)(29)
	生体分子化学特論	1・2②	1	2	↓				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29)
	植物成分機能学特論	1・2③	1	2					※1	
	分子細胞生物学特論	1・2③	1	1	↓				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29)
	環境微生物化学特論	1・2③	1	1					※1	
	機能生化学特論	1・2②	1	1						
	食品成分化学特論	1・2③	1	1			2		※1	
	食品栄養学特論	1・2①	1	1					※1	教育効果を高めるため、配当時期を変更(29) 担当科目の専攻内調整のため担当教員変更(29)
	食品微生物学特論	1・2②	1	1					※1	教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)
	食品保蔵加工学特論	1・2②	1	1			2		※1	
	食品経済学特論	1・2②	1	1					※1	
	食品流通安全管理特論	1・2①	1	1						
	高分子科学特論	1・2②	1	1			2		※1	
	ゲノム化学特論	1・2②	1	1					※1	
	食品機能化学特論	1・2②	1	1	↓				※1	担当科目の専攻内調整のため担当教員変更
	食品物理化学特論	1・2③	1	2	↓				※1	担当教員の職名変更(昇任)
	ライフサイエンスセミナー	1・2③	1	1						
	先端有機化学特論	1・2②	1						兼1 ※1	
	大気環境プロセス工学	1・2①	1						兼1 ※1	
	生物多様性条約およびカルヘナ議定書	1・2②	1						兼2	教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)
	Advanced Materials Chemistry	1・2①	1						兼4 隔年※2	
	Advanced Topics in Organic Chemistry II	1・2①	1						兼3 隔年※2	
	Advanced Topics in Materials Chemistry	1・2②	1						兼4 隔年※2	
	Advanced Topics in Polymer Science I	1・2②	1						兼5 隔年※2	
	Advanced Materials Science and Engineering	1・2①	1						兼1 ※2	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
	Atmosphere and Ocean Dynamics	1・2④	1						兼1 ※2	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
	Advanced Earthquake Disaster Prevention	1・2①	1						兼1 隔年※2	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
	Transport Studies for Sustainable Society	1・2②	1						兼1 隔年※2	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
	Environmental Meteorology	1・2③	1						兼1 ※2	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
	小計(47科目)			47	0	23	14		兼25	
	小計(42科目)			42	0	24	18		兼20	
	合計(96科目)			88	0	28	17		兼64	
	合計(91科目)			82	0	22	14		兼58	

※1 通常コース、アドバンスドグローバルコースプログラム共通科目  
 ※2 アドバンスドグローバルコースプログラム専用科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「記当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況					備考
必修	選択		自由	計(A)	必修	選択		自由	計	
科目	科目	科目	科目		科目	科目	科目	科目	科目	
10	81	0	91		10	86	0	96		
					[ 0 ]	[ 5 ]		[ 0 ]	[ 5 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

全て該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{91} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	192,757㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	192,757㎡	その他の内、附属病院 62,890㎡		
	運動場用地	90,589㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	90,589㎡			
	小 計	283,346㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	283,346㎡	( )内は、借用地で外数		
	そ の 他	6,045,665㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,054,716㎡ (210,076㎡)			
	合 計	6,329,011㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,338,062㎡ (210,076㎡)			
(2) 校 舎	専 用	195,928㎡	0㎡	0㎡	188,412㎡	大学全体		
	( 195,928㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 188,412㎡)	別途附属病院70,002㎡			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	41室	0室	0室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻			58 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	専攻単位では特定 不能なため、大学 全体の数
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	生命科学・化学専攻	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238	
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238		
	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238		
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	9,951㎡		712		959,578		大学全体	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4 既設大学等の状況

(岐阜大学)

大学の名称	岐阜大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
<学部>										
教育学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士(教育学)	1.03	平成10年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	0.98	昭和40年度		平成19年度、養護学校教員養成課程から名称変更	
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
地域政策学科	4	50	3年次	5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
地域文化学科	4	50	3年次	5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
医学科	6	110	3年次		645	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		平成13年度より学生受入	
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	平成3年度		平成14年度、土木工学科から名称変更	
機械工学科	4	130		520	学士(工学)	1.06	平成25年度			
化学・生命工学科	4	150		600	学士(工学)	1.08	平成25年度			
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士(工学)	1.06	平成25年度			
機械システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成14年度、応用精密化学科から名称変更 平成25年度から学生募集停止	
電気電子工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
生命工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
応用情報学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
機能材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止	
人間情報システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止	
数理デザイン工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止	
(各学科共通)	4		3年次	30	60	学士(工学)	-			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
応用生命科学課程	4	80	3年次	5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成16年度		平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
生産環境科学課程	4	80	3年次	5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度		
共同獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度			
獣医学課程	6	-		-	学士(獣医学)	-	平成16年度		平成25年度から学生募集停止	

<b>&lt;大学院&gt;</b>									
<b>教育学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>教職大学院課程</b>									
教職実践開発専攻	2	25	50	教職修士(専門職)	0.98	平成20年度			
<b>修士課程</b>									
心理発達支援専攻	2	10	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度			
カリキュラム開発専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成14年度			平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	34	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度			
教科教育専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成7年度			平成25年度から学生募集停止
<b>地域科学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
地域政策専攻	2	12	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度			
地域文化専攻	2	8	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度			
<b>医学系研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
看護学専攻	2	8	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度			
<b>博士課程</b>									
医科学専攻	4	47	188	博士(医学)	0.75	平成14年度			
博士前期課程									
再生医科学専攻	2	-	-	修士(再生医科学)	-	平成14年度			平成29年度から学生募集停止
博士後期課程									
再生医科学専攻	3	6	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度			
<b>工学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>博士前期課程</b>									
社会基盤工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成18年度、土木工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成13年度、機械工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
応用化学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
生命工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
応用情報学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
機能材料工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
人間情報システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
数理デザイン工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成11年度			平成29年度から学生募集停止
<b>博士後期課程</b>									
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.42	平成3年度			
物質工学専攻	3	3	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士(工学)	0.91	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士(工学)	0.33	平成11年度			平成13年度より学生受入
<b>自然科学技術研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
生命科学・化学専攻	2	82	164	修士(応用情報科学)	1.09	平成29年度			平成29年度より学生受入
生物生産環境科学専攻	2	44	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			平成29年度より学生受入
環境社会基盤工学専攻	2	29	58	修士(工学)	1.03	平成29年度			平成29年度より学生受入
物質・ものづくり工学専攻	2	67	134	修士(工学)	1.20	平成29年度			平成29年度より学生受入
知能理工学専攻	2	81	162	修士(工学)	1.23	平成29年度			平成29年度より学生受入
エネルギー工学専攻	2	72	144	修士(工学)	1.26	平成29年度			平成29年度より学生受入

応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1	
修士課程									
応用生命科学専攻	2	-		-	修士 (応用生物科学)	-	平成 20 年度		平成 25 年度、資源生命科学専攻から名称変更 平成 29 年度から学生募集停止
生産環境科学専攻	2	-		-	修士 (応用生物科学)	-	平成 20 年度		平成 25 年度、生物環境科学専攻から名称変更 平成 29 年度から学生募集停止
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1	
博士課程									
生物生産科学専攻	3	7		21	博士 (農学)	0.66	平成 3 年度		
生物環境科学専攻	3	5		15	博士 (農学)	0.93	平成 3 年度		
生物資源科学専攻	3	8		24	博士 (農学)	1.25	平成 3 年度		
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1	
博士課程									
獣医学専攻	4	20		80	博士 (獣医学)	1.37	平成 2 年度		
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1	
博士課程									
創薬科学専攻	3	3		9	博士 (工学又は薬科学)	0.77	平成 19 年度		
医療情報学専攻	3	3		9	博士 (医科学又は薬科学)	1.00	平成 19 年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者 (学校法人等) が設置している全ての大学 (学部, 学科), 大学院 (専攻) 及び短期大学 (学科) (A C 対象学部等含む) について, それぞれの学校種ごとに, 平成 29 年 5 月 1 日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部/学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位 (大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」) でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・A C 対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第 2 位まで (小数点以下第 3 位を切り捨て) を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		
				専任	教授	竹森 洋	平成29年4月	分子科学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
				専任	准教授	森部 鈞嗣	平成29年4月	デザイン思考序論	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
専任	准教授	海老原 章郎	平成29年4月	専任	教授	海老原 章郎	平成29年4月	Advanced Topics in Molecular Life Science: Biologica l Aspects 生化学特論 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Interns ip 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
専任	准教授	岩本 悟志	平成29年4月	専任	教授	岩本 悟志	平成29年4月	Advanced Topics in Food Chemistry 食品工学特論 食品物理化学特 論 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Interns ip 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
専任	教授	早川 享志	平成29年4月	専任	教授	早川 享志	平成29年4月	Advanced Topics in Food Chemistry 食品栄養学特論 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Interns ip 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専攻内調整のため担当科目変更 (29)
専任	准教授	島田 昌也	平成29年4月	専任	准教授	島田 昌也	平成29年4月	食品栄養学特論 食品機能化学特 論 Advanced Topics in Food Chemistry 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Interns ip 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専攻内調整のため担当科目変更 (29)
				専任	助教	島田 敬広	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
専任	助教	未定	平成29年4月	専任	助教	今泉 鉄平	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の決定 (29)
				専任	助教	橋本 美涼	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)

					専任 助教	山内 恒生	平成29年4月	特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
専任	准教授	池田 将	平成29年4月	Advanced Topics in Nanomedicine 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシップA Ⅰ インターンシップA Ⅱ インターンシップB Ⅰ インターンシップB Ⅱ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	専任 教授	池田 将	平成29年4月	Advanced Topics in Nanomedicine 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プAⅠ インターンシッ プAⅡ インターンシッ プBⅠ インターンシッ プBⅡ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
					専任 助教	川瀬 真弓	平成29年4月	デザイン思考序 論 デザイン思考ト レーニング	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
専任	准教授	中川 寛	平成29年4月	Advanced Topics in Molecular Life Science: Biological Aspects. 分子細胞生物学特 論 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシップA Ⅰ インターンシップA Ⅱ インターンシップB Ⅰ インターンシップB Ⅱ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	専任 教授	中川 寛	平成29年4月	Advanced Topics in Molecular Life Science: Biological Aspects. デザイン思考序 論 分子細胞生物学 特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プAⅠ インターンシッ プAⅡ インターンシッ プBⅠ インターンシッ プBⅡ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
専任	准教授	安藤 弘宗	平成29年4月	Advanced Topics in Molecular Life Science: Chemical Aspects. 生体分子化学特 論 有機化学特論Ⅰ、 ケミカルバイオロ ジー特論 実践英語 アカデミックキャ リア インターンシップA Ⅰ インターンシップA Ⅱ インターンシップB Ⅰ インターンシップB Ⅱ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	専任 教授	安藤 弘宗	平成29年4月	Advanced Topics in Molecular Life Science: Chemical Aspects. 生体分子化学特 論 有機化学特論 Ⅰ、 ケミカルバイオ ロジー特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プAⅠ インターンシッ プAⅡ インターンシッ プBⅠ インターンシッ プBⅡ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
					兼任 教授	嶋 睦宏	平成29年4月		教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任 教授	小林 智尚	平成29年4月	Atmosphere and Ocean Dynamics	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任 准教授	小山 真紀	平成29年4月	Advanced Earthquake Disaster Prevention	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任 教授	倉内 文孝	平成29年4月	Transport Studies for Sustainable Society	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任 教授	玉川 一部	平成29年4月	Environmental Meteorology	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)



- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における誕生日を**、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の誕生日**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **置かずに設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AO)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なる、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「教員審査省略」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
12	8	3
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第四百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
22	21	0	10	53	28	17	0	15	60	28	17	0	15	60
(28)	(17)	(0)	(15)	(60)						[ 6 ]	[ Δ4 ]	[ 0 ]	[ 5 ]	[ 7 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	3	0			54	4	2			54	4	2		
(54)	(4)	(2)								[ 4 ]	[ 1 ]	[ 2 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>アドバンスドグローバルコース (AGC)</p> <p>これまでの工学研究科、応用生物科学研究科で培われてきた特別教育プログラムを発展させ、工学分野および応用生物科学分野全般にわたり、国際社会で実践力を持つグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とした全専攻に提供される教育プログラム</p>	<p>アドバンスドグローバルプログラム (AGP)</p> <p>実際に海外における使い方や留学生も多いため、海外から誤解の受けないようにするためにアドバンスドグローバルプログラム (AGP) に変更</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自然科学技術研究科大学院委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 月1回の開催 委員会の構成員は、研究科長、副研究科長、工学部及び応用生物科学部の副学部長、各領域から選出された者</p> <p>c 委員会の審議事項等 主な審議事項は、教育課程の編成及び授業に関すること、授業科目の試験及び学業成績に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

未定

##### b 公表方法

未定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年9月1日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人岐阜大学

## (2) 大学名

岐阜大学

## (3) 大学の位置

〒501-1193  
岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
研究科長	ノノムラ シュウイチ 野々村 修一 平成29年4月		
専攻長等	ドイ オサム 土井 守 平成29年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻 修士(応用生物科学)	農学関係	2年	44人	88人	基礎となる学部等 応用生物科学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成29年度	平成30年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	44人 ( ) [ - ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.11倍	
志願者数	64 ( 1 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	62 ( 1 ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	55 ( 1 ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	49 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.11					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。



(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	49 [ 5 ] ( - )	- [ - ] ( - )					
2年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	
計	49 [ 5 ] ( - )				[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	49 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	49 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<自然科学研究科 生物生産環境科学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	実践英語	1・2通年	1			22 24	23 24				※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	デザイン思考序論	1・2①,②	1			1	1	1		兼4	※1	教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	Scientific Presentation	1・2③,④ <del>1・2①,②</del>	1							兼2	※1	教育効果を高めるため、配当時期を変更（29）
	知財論	1・2①,②	1							兼4		
	科学者倫理	1・2③,④	1							兼4		
	デザイン思考トレーニング	1・2③,④	1			1			1	兼4		教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	リーダーシップ入門	1・2② <del>1・2①,④</del>	1							兼5		教育効果を高めるため、配当時期を変更（29）
	アカデミックキャリア	1・2通年	1			22 24	23 24				※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	インターンシップA I	1・2通年	1			22 24	23 24				※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	インターンシップA II	1・2通年	1			22 24	23 24				※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	インターンシップB I	1・2通年	2			22 24	23 24				※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	インターンシップB II	1・2通年	2			22 24	23 24				※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	Global Internship	1・2通年	2			22 24	23 24				※2	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
小計（13科目）	—	4	12	0	22 24	23 24		1	兼19	—		
横断科目	先端生命科学特論	1・2④ <del>1・2①,②,③</del>	1								兼8	オムニバス 教育効果を高めるため、配当時期を変更（29）
	先端環境科学特論	1・2④ <del>1・2①,②,③</del>	1			4				兼4	オムニバス 教育効果を高めるため、配当時期を変更（29）	
	先端創造科学特論	1・2④ <del>1・2①,②,③</del>	1							兼8	オムニバス 教育効果を高めるため、配当時期を変更（29）	
	小計（3科目）	—	2	1	0	4				兼20	—	
専門研究科目	特別研究	1,2通年	8			22 24	23 24	8			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	演習 I	1・2通年	1			22 24	23 24	8			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	演習 II	1・2通年	1			22 24	23 24	8			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	演習 III	1・2通年	1			22 24	23 24	8			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	演習 IV	1・2通年	1			22 24	23 24	8			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	環境リーダー育成特別演習	1・2③,④	1			1				兼1	※1	
	特別講義 I	1・2集中	1							兼1	※1	
	特別講義 II	1・2集中	1							兼1	※1	
	特別講義 III	1・2集中	1							兼1		
	特別講義 IV	1・2集中	1							兼1		
	リモートセンシング水環境計測特論	1・2集中	1			1	1	1			兼2	※1
	アジア水環境動態特論	1・2集中	1							兼5	※1	
	アジア水処理技術特論	1・2集中	1							兼5	※1	
小計（13科目）	—	12	8	0	22 24	23 24	8		兼17	—		
領域コア科目	応用植物科学	植物保護学特論	1・2②	1		1	1				※1	
	植物生理学特論	1・2③	1			1	1				※1	
	植物生産科学特論	1・2③	1			2	1	↓			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	Advanced Topics of Green Biotechnology	1・2①	1			8	2				※2	教育効果を高めるため、担当教員追加（29）
	Advanced Topics of Crop Production and Agribusiness	1・2③	1			8					※2	
	応用動物科学	動物遺伝学特論	1・2①	1		1						
	動物栄養学特論	1・2③	1			1	↓					担当教員の職名変更（昇任）(29)
	動物繁殖学特論	1・2②	1			1						
	動物管理学特論	1・2②	1			1	1					
	動物生態学特論	1・2①	1			1					※1	
	Advanced Topics of Animal Science	1・2③	1			8	7	1			※2	
	環境生態科学	植物生態学特論	1・2③	1		1	1				※1	
	動物生態学特論	1・2①	1			1					※1	
	保全生態学特論	1・2③	1			2					※1	
	生態系生態学特論	1・2①	1			1	2				※1	
	物質動態学特論	1・2①	1			1	2				※1	
	灌漑工学特論	1・2①	1			2	1					
	Advanced Topics on Irrigation Engineering	1・2②	1			2	2				※2	
小計（18科目）	—	0	18	0	21 24	14 14	1	↓		—		

専門科目	植物環境制御学特論	1・2② <del>1・2③</del>	1	1	1				※1	教育効果を高めるため、配当時期を変更 (29)
	植物生産工学特論	1・2① <del>1・2②</del>	1		1	1			※1	教育効果を高めるため、配当時期を変更 (29)
	植物細胞工学特論	1・2①	1	1	1	4			※1	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	植物ゲノム科学特論	1・2②	1	1					※1	
	農業生産技術学特論	通年 <del>1・2②</del>	1	1					※1	教育効果を高めるため、配当時期を変更 (29)
	分子植物病学特論	1・2③	1		1				※1	
	食料, 農業政策学特論	1・2②	1	1	1				※1	退職による担当教員変更 (29)
	農業経済学特論	1・2①	1		1					
	動物発生学特論	1・2③	1		1				※1※演習	
	比較生化学特論	1・2③	1	1					※1	
	動物ゲノム多様性学特論	1・2②	1		1					
	動物発生工学特論	1・2③	1			1				
	動物飼養学特論	1・2①	1	1	4					担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	動物園学特論	1・2③	1		1				※演習	
	野生動物管理実務特論	1・2③	1	1						
	外来種管理学特論	1・2③	1		1					
	魚類生態学特論	1・2①	1		1					
	地域資源生態学特論	1・2④	1			1			※1	
	山地資源管理学特論	1・2②	1		1				※1	
	陸域環境物理学特論	1・2①	1	1		1			※1	
	化学生態学特論	1・2③	1			1			※1	
	農林環境情報管理学特論	1・2①	1	1						
	水圏環境学特論	1・2③	1		1					
	森林動物管理学特論	1・2④	1		1	4				担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	群集生態学特論	1・2①	1		1					
	土壌環境工学特論	1・2③	1		1					
	水利計算学特論	1・2④	1	1						
	環境プロセス解析	1・2②	1						兼1	
	水質制御工学	1・2③	1						兼1	
	水環境科学特論	1・2①	1						兼1	
	先端水質制御工学	1・2④	1						兼2	
	地域環境文化特論	1・2①, ②	1		1				兼1	隔年※1
	地球環境文化特論	1・2③, ④	1		1				兼1	隔年※1
	地域環境社会特論	1・2①, ②	1		1				兼1	隔年※1
	地球環境社会特論	1・2③, ④	1		1				兼1	隔年※1
	生物多様性条約およびカルタヘナ議定書	1・2② <del>1・2①, ③</del>	1						兼2	教育効果を高めるため、配当時期を変更 (29)
小計 (36科目)		0	36	0	10	17	5	兼6	—	
合計 (83科目)		18	75	0	22	24	9	兼60	—	

※1 通常コース、アドバンスドグローバルコースプログラム共通科目  
 ※2 アドバンスドグローバルコースプログラム専用科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成28年度に認可 (届出) された大学等は設置認可 (届出) 時) より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況					備考
必修	選択			必修	選択			自由	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
10	73	0	83	10	73	0	83	[ 0 ]	[ 0 ]

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

全て該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{83} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	192,757㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	192,757㎡	その他の内、附属病院 62,890㎡		
	運動場用地	90,589㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	90,589㎡			
	小 計	283,346㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	283,346㎡			
	そ の 他	6,045,665㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,054,716㎡ (210,076㎡)	( )内は、借用地で外数		
	合 計	6,329,011㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,338,062㎡ (210,076㎡)			
(2) 校舎	専 用	195,928㎡	0㎡	0㎡	188,412㎡	大学全体		
	( 195,928㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 188,412㎡)	別途附属病院70,002㎡			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	41室	0室	0室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻			53 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	専攻単位では特定 不能なため、大学 全体の数
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]					
	生物生産環境科学専攻	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238	
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238		
	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238		
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	9,951㎡		712		959,578		大学全体	
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4 既設大学等の状況

(岐阜大学)

大学の名称	岐阜大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部>									
教育学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士(教育学)	1.03	平成10年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	0.98	昭和40年度		平成19年度、養護学校教員養成課程から名称変更
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域政策学科	4	50	3年次 5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
地域文化学科	4	50	3年次 5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医学科	6	110	3年次	645	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		平成13年度より学生受入
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	平成3年度		平成14年度、土木工学科から名称変更
機械工学科	4	130		520	学士(工学)	1.06	平成25年度		
化学・生命工学科	4	150		600	学士(工学)	1.08	平成25年度		
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士(工学)	1.06	平成25年度		
機械システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成14年度、応用精密化学から名称変更 平成25年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
生命工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用情報学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
機能材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
人間情報システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
数理デザイン工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
(各学科共通)	4		3年次 30	60	学士(工学)	-			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
応用生命科学課程	4	80	3年次 5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成16年度		平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
生産環境科学課程	4	80	3年次 5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度		
共同獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度		
獣医学課程	6	-		-	学士(獣医学)	-	平成16年度		平成25年度から学生募集停止

<b>&lt;大学院&gt;</b>									
<b>教育学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>教職大学院課程</b>									
教職実践開発専攻	2	25	50	教職修士(専門職)	0.98	平成20年度			
<b>修士課程</b>									
心理発達支援専攻	2	10	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度			
カリキュラム開発専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成14年度			平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	34	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度			
教科教育専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成7年度			平成25年度から学生募集停止
<b>地域科学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
地域政策専攻	2	12	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度			
地域文化専攻	2	8	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度			
<b>医学系研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
看護学専攻	2	8	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度			
<b>博士課程</b>									
医科学専攻	4	47	188	博士(医学)	0.75	平成14年度			
博士前期課程									
再生医科学専攻	2	-	-	修士(再生医科学)	-	平成14年度			平成29年度から学生募集停止
博士後期課程									
再生医科学専攻	3	6	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度			
<b>工学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>博士前期課程</b>									
社会基盤工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成18年度、土木工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成13年度、機械工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
応用化学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
生命工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
応用情報学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
機能材料工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
人間情報システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
数理デザイン工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成11年度			平成29年度から学生募集停止
<b>博士後期課程</b>									
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.42	平成3年度			
物質工学専攻	3	3	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士(工学)	0.91	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士(工学)	0.33	平成11年度			平成13年度より学生受入
<b>自然科学技術研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
生命科学・化学専攻	2	82	164	修士(応用情報システム工学)	1.09	平成29年度			平成29年度より学生受入
生物生産環境科学専攻	2	44	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			平成29年度より学生受入
環境社会基盤工学専攻	2	29	58	修士(工学)	1.03	平成29年度			平成29年度より学生受入
物質・ものづくり工学専攻	2	67	134	修士(工学)	1.20	平成29年度			平成29年度より学生受入
知能理工学専攻	2	81	162	修士(工学)	1.23	平成29年度			平成29年度より学生受入
エネルギー工学専攻	2	72	144	修士(工学)	1.26	平成29年度			平成29年度より学生受入



応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
修士課程									
応用生命科学専攻	2	-	-	修士(応用生物学)	-	平成20年度			平成25年度、資源生命科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
生産環境科学専攻	2	-	-	修士(応用生物学)	-	平成20年度			平成25年度、生物環境科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
生物生産科学専攻	3	7	21	博士(農学)	0.66	平成3年度			
生物環境科学専攻	3	5	15	博士(農学)	0.93	平成3年度			
生物資源科学専攻	3	8	24	博士(農学)	1.25	平成3年度			
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
獣医学専攻	4	20	80	博士(獣医学)	1.37	平成2年度			
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
創薬科学専攻	3	3	9	博士(工学又は薬科学)	0.77	平成19年度			
医療情報学専攻	3	3	9	博士(薬科学又は薬科学)	1.00	平成19年度			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	荒井 聡	平成29年4月	食料、農業政策学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップAI インターンシップAII インターンシップBI インターンシップBII Global Internship 特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	専任	准教授	李 侖美	平成29年4月	食料、農業政策学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップAI インターンシップAII インターンシップBI インターンシップBII Global Internship 特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	平成29年3月退職による担当教員の変更(29)
					専任	准教授	森部 絢嗣	平成29年4月	デザイン思考序論	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	助教	未定	平成29年4月	特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	専任	助教	乃田 啓吾	平成29年4月	特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	担当教員の決定(29)
					専任	准教授	西山 竜朗	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターンシップAI インターンシップAII インターンシップBI インターンシップBII Global Internship 特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	助教	未定	平成29年4月	特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	専任	助教	片畑 伸一郎	平成29年4月	特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	担当教員の決定(29)
専任	助教	未定	平成29年4月	特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	専任	助教	田中 貴	平成29年4月	特別研究 演習I 演習II 演習III 演習IV	担当教員の決定(29)
					専任	助教	川瀬 真弓	平成29年4月	デザイン思考序論 デザイン思考トレーニング	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)

専任	准教授	山本 朱美	平成29年4月	動物栄養学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターン シップA I インターン シップA II インターン シップB I インターン シップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	山本 朱美	平成29年4月	動物栄養学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップA I インターンシ ップA II インターンシ ップB I インターンシ ップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
専任	准教授	八代田 真人	平成29年4月	動物飼養学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターン シップA I インターン シップA II インターン シップB I インターン シップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	八代田 真人	平成29年4月	動物飼養学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップA I インターンシ ップA II インターンシ ップB I インターンシ ップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更 (昇任) (29)
専任	助教	小林 佑理子	平成29年4月	植物細胞工学 特論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	小林 佑理子	平成29年4月	Advanced Topics of Green Biotechnology 実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップA I インターンシ ップA II インターンシ ップB I インターンシ ップB II Global Internship 植物細胞工学特 論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更 (昇任) (29) 教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
専任	助教	山根 京子	平成29年4月	植物生産科学 特論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	山根 京子	平成29年4月	Advanced Topics of Green Biotechnology 実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップA I インターンシ ップA II インターンシ ップB I インターンシ ップB II Global Internship 植物生産科学特 論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更 (昇任) (29) 教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)

専任	助教	安藤 正規	平成29年4月	森林動物管理 学特論 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	専任	准教授	安藤 正規	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップⅠ インターンシ ップⅡ インターンシ ップⅢ インターンシ ップⅣ Global Internship 森林動物管理 学特論 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	担当教員の職名変更（昇任）(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
----	----	-------	---------	---------------------------------------------------	----	-----	-------	---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

- (注) ・ 設置時の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていないうちは、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていないうちは、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **既設で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AO教員審査）を受けてください。AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
7	5	2
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
21	20	0	8	49	22	24	0	9	55	22	24	0	9	55
(22)	(24)	(0)	(9)	(55)						[ 1 ]	[ 4 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 6 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
49	0	0			53	0	2			53	0	2		
(53)	(0)	(2)								[ 4 ]	[ 0 ]	[ 2 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	荒井 聡	選択	食料、農業政策学特論	①	退職のため就任辞退 (29)	
			選択	実践英語	①		
			選択	アカデミックキャリア	①		
			選択	インターンシップA I	①		
			選択	インターンシップA II	①		
			選択	インターンシップB I	①		
			選択	インターンシップB II	①		
			必修	Global Internship	①		
			必修	特別研究	①		
			必修	演習 I	①		
			必修	演習 II	①		
			必修	演習 III	①		
			必修	演習 IV	①		
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専攻内の他の教員で担当するため、教育の質は確保できている。  
また、学生への周知については、適宜、学生便覧、学生掲示板に示す等して、学生への周知徹底を行っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>アドバンスドグローバルコース (AGC)</p> <p>これまでの工学研究科、応用生物科学研究科で培われてきた特別教育プログラムを発展させ、工学分野および応用生物科学分野全般にわたり、国際社会で実践力を持つグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とした全専攻に提供される教育プログラム</p>	<p>アドバンスドグローバルプログラム (AGP)</p> <p>実際に海外における使い方や留学生も多いため、海外から誤解の受けないようにするためにアドバンスドグローバルプログラム (AGP) に変更</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自然科学技術研究科大学院委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 月1回の開催 委員会の構成員は、研究科長、副研究科長、工学部及び応用生物科学部の副学部長、各領域から選出された者</p> <p>c 委員会の審議事項等 主な審議事項は、教育課程の編成及び授業に関すること、授業科目の試験及び学業成績に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

未定

##### b 公表方法

未定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年9月1日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人岐阜大学

## (2) 大学名

岐阜大学

## (3) 大学の位置

〒501-1193  
岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
研究科長	ノノムラ シュウイチ 野々村 修一 平成29年4月		
専攻長等	タカギ アキヨシ 高木 朗義 平成29年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	29人	58人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成29年度	平成30年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	29人 ( ) [ ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.03倍	
志願者数	46 (3) [6]	- (-) [-]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	40 (3) [6]	- (-) [-]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	38 (3) [6]	- (-) [-]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	30 (1) [6]	- (-) [-]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.03					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	30 [ 6 ] ( - )	- [ - ] ( - )					
2年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	
計	30 [ 6 ] ( - )				[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	30 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	30 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<自然科学研究科 環境社会基盤工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	手			
研究科共通科目	実践英語	1・2通年	1			15 12	8 11					※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	デザイン思考序論	1・2①,②	1			1	1	1			兼4	※1	教育効果を高めるため,担当教員追加(29) 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)
	Scientific Presentation	1・2③,④ 1・2①,②	1								兼2	※1	
	知財論	1・2①,②	1								兼4		
	科学者倫理	1・2③,④	1								兼4		
	デザイン思考トレーニング	1・2③,④	1			1			1		兼4		教育効果を高めるため,担当教員追加(29) 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)
	リーダーシップ入門	1・2② 1・2①,②	1								兼5		
	アカデミックキャリア	1・2通年	1			15 12	8 11					※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	インターンシップA I	1・2通年	1			15 12	8 11					※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	インターンシップA II	1・2通年	1			15 12	8 11					※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	インターンシップB I	1・2通年	2			15 12	8 11					※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	インターンシップB II	1・2通年	2			15 12	8 11					※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	Global Internship	1・2通年	2			15 12	8 11					※2	担当教員の職名変更（昇任）(29)
小計(13科目)	—	—	4	12	0	15 12	9 11		1	兼19	—		
横断科目	先端生命科学特論	1・2④ 1・2①,②	1									兼8	オムニバス 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)
	先端環境科学特論	1・2④ 1・2①,②	1			4					兼4	オムニバス 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	先端創造科学特論	1・2④ 1・2①,②	1								兼8	オムニバス 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	小計(3科目)	—	—	2	1	0	4				兼20	—	
専門研究科目	特別研究	1,2通年	8			15 12	8 11		3			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	演習 I	1・2通年	1			15 12	8 11		3			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	演習 II	1・2通年	1			15 12	8 11		3			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	演習 III	1・2通年	1			15 12	8 11		3			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	演習 IV	1・2通年	1			15 12	8 11		3			※1	担当教員の職名変更（昇任）(29)
	応用社会基盤工学演習	1・2通年	1			15 12	8 11		3				担当教員の職名変更（昇任）(29)
	環境リーダー育成特別演習	1・2③,④	1								兼2	※1	
	特別講義 I	1・2集中	1								兼1	※1	
	特別講義 II	1・2集中	1								兼1	※1	
	特別講義 III	1・2集中	1								兼1		
	特別講義 IV	1・2集中	1								兼1		
	インフラマネジメントPBL A	1・2①,②	1			5 4	0 1						担当教員の職名変更（昇任）(29)
	インフラマネジメントPBL B	1・2③,④	1			5 4	0 1						担当教員の職名変更（昇任）(29)
	橋梁維持管理特論	1・2集中	1			2					兼2		
	土構造維持管理特論	1・2集中	1			2 1	0 1				兼2		担当教員の職名変更（昇任）(29)
	維持管理マネジメント特論	1・2集中	1			1					兼2		
	リモートセンシング水環境計測特論	1・2集中	1			1					兼4	※1	
アジア水環境動態特論	1・2集中	1			1					兼5	※1		
アジア水処理技術特論	1・2集中	1			1					兼4	※1		
小計(19科目)	—	—	12	14	0	15 12	8 11		3	兼24	—		
領域コア科目	環境	環境プロセス解析	1・2②	1		1	1					※1	
	水質制御工学	1・2③	1			1						※1	
	環境地質学	1・2①	1			1	1						担当教員の職名変更（昇任）(29)
	先端地域デザイン論	1・2①	1			2	1		1				
	流域環境工学	1・2①	1			1							
	Advanced Environmental Engineering	1・2①	1			6 5	4 6			兼2	※2	担当教員の職名変更（昇任）(29)	
	防災	地盤の力学挙動	1・2①	1		1						※1	
	コンクリート工学特論	1・2②	1			1							
	地盤の浸透挙動	1・2②	1			1	1						担当教員の職名変更（昇任）(29)
	先端地域デザイン論	1・2①	1			2	1		1				
	水防災工学	1・2①	1			1	1						
	地震リスク解析	1・2②	1			1						隔年	
	Advanced Steel Structures	1・2②	1			1	1					※2	
	Seismic Risk Analysis	1・2②	1			1						隔年※2	
	Advanced Disaster Reduction Engineering	1・2①	1			9 7	4 6					※2	担当教員の職名変更（昇任）(29)
小計(15科目)	—	—	0	15	0	15 12	8 11		1	兼2	—		
環境社会基盤工学専攻	水環境科学特論	1・2①	1			1	1					※1	
	先端水質制御工学	1・2④	1			1	1					※1	
	気象環境システム論	1・2②	1							兼1			
	流域圏環境気象学	1・2②	1			1							
	流域環境デザイン	1・2④	1			1							
	先端コンクリート工学	1・2③	1			1						隔年	
	地震動解析	1・2③	1			1	1						
	地震防災特論	1・2①	1			1	1					隔年	
	都市防災デザイン論	1・2②	1			1							

専門科目	地震の防災	1・2③	1	1										隔年		
	Advanced Earthquake Disaster Prevention	1・2①	1		1									隔年※2		
	Advanced Concrete Engineering	1・2③	1	1										隔年※2		
	Geo-Disaster Prevention	1・2③	1	1										隔年※2		
	建設科学特論	1・2①	1	1										隔年		
	橋梁工学特論	1・2③	1	1	+										担当教員の職名変更 (昇任) (29)	
	地震の調査	1・2③	1	4	+										担当教員の職名変更 (昇任) (29)	
	プロジェクト評価特論	1・2④	1	1												
	応用交通デザイン学	1・2②	1	1											隔年	
	大気海洋システム論	1・2④	1											兼1		
	水理解析学	1・2②	1			1										
	水文解析学	1・2③	1			1										
	データ解析論	1・2①	1			2										
	都市形成史	1・2④	1			1										
	先端インフラマネジメント (鋼, コンクリート)	1・2④	1	3	+											担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	先端インフラマネジメント (土, 地震)	1・2④	1	3	+											担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	インフラマネジメント論	1・2②	1	2												教育効果を高めるため、配当時期を変更 (29)
	橋梁の設計, トンネル	1・2集中	1	3	+									兼11		担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	橋梁の維持管理	1・2集中	1	3	+									兼9		担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	地震と斜面	1・2集中	1	3	+									兼8		担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	土構造物と舗装, 水道, 河川構造物	1・2集中	1	2	+									兼7		担当教員の職名変更 (昇任) (29)
	インフラマネジメント	1・2集中	1	3	1	1								兼9		
	Advanced Construction Materials	1・2①	1	1											隔年※2	
	Transport Studies for Sustainable Society	1・2②	1	1											隔年※2	
	Atmosphere and Ocean Dynamics	1・2④	1											兼1	※2	
	Environmental Meteorology	1・2③	1	1											※2	
	Earth Science	1・2③	1	1											※2	
	Bioanalytical Sciences	1・2④	1											兼1	※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	Advanced Materials Science and Engineering	1・2①	1											兼1	※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	灌漑工学特論	1・2①	1											兼3		
	Advanced Topics on Irrigation Engineering	1・2②	1											兼4	※2	
	物質動態学特論	1・2①	1											兼3	※1	
	生態系生態学特論	1・2①	1											兼2	※1	
	地域環境文化特論	1・2①, ②	1											兼2	隔年※1	
	地球環境文化特論	1・2③, ④	1											兼2	隔年※1	
	地域環境社会特論	1・2①, ②	1											兼2	隔年※1	
	地球環境社会特論	1・2③, ④	1											兼2	隔年※1	
	小計 (46科目)			46		15	8								兼57	
	小計 (44科目)			44		12	11	1							兼56	
	合計 (90科目)			88		15	9	4							兼115	
	合計 (94科目)			86		12	11	2							兼114	

※1 通常コース、アドバンスドグローバルユニバーシティプログラム共通科目  
 ※2 アドバンスドグローバルユニバーシティプログラム専用科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況					備考
必修	選択	自由	計(A)		必修	選択	自由	計		
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	84		0	94	10		86	0	96	
					[ 0 ]	[ 2 ]		[ 0 ]	[ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

全て該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{94} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	192,757㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	192,757㎡	その他の内、附属病院 62,890㎡			
	運動場用地	90,589㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	90,589㎡				
	小 計	283,346㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	283,346㎡				
	そ の 他	6,045,665㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,054,716㎡ (210,076㎡)	( )内は、借用地で外数			
	合 計	6,329,011㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,338,062㎡ (210,076㎡)				
(2) 校舎	専 用	195,928㎡	0㎡	0㎡	188,412㎡	大学全体			
	( 195,928㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 188,412㎡)	別途附属病院70,002㎡				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	41室	0室	0室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻			26 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位では特定 不能なため、大学 全体の数	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	環境社会基盤工学専攻	905,757 905,757[303,075]	24,032 24,032[11,722]	7,268 7,268[6,048]	4,331 4,331	6,487 6,487	2,238 2,238		
	計	905,757 905,757[303,075]	24,032 24,032[11,722]	7,268 7,268[6,048]	4,331 4,331	6,487 6,487	2,238 2,238		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
	9,951㎡		712		959,578				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4 既設大学等の状況

(岐阜大学)

大学の名称	岐阜大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部>									
教育学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士(教育学)	1.03	平成10年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	0.98	昭和40年度		平成19年度、養護学校教員養成課程から名称変更
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
			3年次						
地域政策学科	4	50	5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
			3年次						
地域文化学科	4	50	5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医学科	6	110		645	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
			3年次						
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		平成13年度より学生受入
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	平成3年度		平成14年度、土木工学科から名称変更
機械工学科	4	130		520	学士(工学)	1.06	平成25年度		
化学・生命工学科	4	150		600	学士(工学)	1.08	平成25年度		
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士(工学)	1.06	平成25年度		
機械システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成14年度、応用精密化学から名称変更 平成25年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
生命工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用情報学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
機能材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
人間情報システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
数理デザイン工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
(各学科共通)	4		3年次 30	60	学士(工学)	-			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
			3年次						
応用生命科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成16年度		平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
			3年次						
生産環境科学課程	4	80	5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度		
共同獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度		
獣医学課程	6	-		-	学士(獣医学)	-	平成16年度		平成25年度から学生募集停止

<b>&lt;大学院&gt;</b>									
<b>教育学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>教職大学院課程</b>									
教職実践開発専攻	2	25	50	教職修士(専門職)	0.98	平成20年度			
<b>修士課程</b>									
心理発達支援専攻	2	10	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度			
カリキュラム開発専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成14年度			平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	34	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度			
教科教育専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成7年度			平成25年度から学生募集停止
<b>地域科学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
地域政策専攻	2	12	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度			
地域文化専攻	2	8	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度			
<b>医学系研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
看護学専攻	2	8	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度			
<b>博士課程</b>									
医科学専攻	4	47	188	博士(医学)	0.75	平成14年度			
博士前期課程									
再生医科学専攻	2	-	-	修士(再生医科学)	-	平成14年度			平成29年度から学生募集停止
博士後期課程									
再生医科学専攻	3	6	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度			
<b>工学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>博士前期課程</b>									
社会基盤工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成18年度、土木工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成13年度、機械工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
応用化学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
生命工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
応用情報学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
機能材料工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
人間情報システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
数理デザイン工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成11年度			平成29年度から学生募集停止
<b>博士後期課程</b>									
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.42	平成3年度			
物質工学専攻	3	3	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士(工学)	0.91	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士(工学)	0.33	平成11年度			平成13年度より学生受入
<b>自然科学技術研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
生命科学・化学専攻	2	82	164	修士(応用情報システム工学)	1.09	平成29年度			平成29年度より学生受入
生物生産環境科学専攻	2	44	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			平成29年度より学生受入
環境社会基盤工学専攻	2	29	58	修士(工学)	1.03	平成29年度			平成29年度より学生受入
物質・ものづくり工学専攻	2	67	134	修士(工学)	1.20	平成29年度			平成29年度より学生受入
知能理工学専攻	2	81	162	修士(工学)	1.23	平成29年度			平成29年度より学生受入
エネルギー工学専攻	2	72	144	修士(工学)	1.26	平成29年度			平成29年度より学生受入

応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
修士課程									
応用生命科学専攻	2	-	-	修士(応用生物学)	-	平成20年度			平成25年度、資源生命科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
生産環境科学専攻	2	-	-	修士(応用生物学)	-	平成20年度			平成25年度、生物環境科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
生物生産科学専攻	3	7	21	博士(農学)	0.66	平成3年度			
生物環境科学専攻	3	5	15	博士(農学)	0.93	平成3年度			
生物資源科学専攻	3	8	24	博士(農学)	1.25	平成3年度			
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
獣医学専攻	4	20	80	博士(獣医学)	1.37	平成2年度			
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
創薬科学専攻	3	3	9	博士(工学又は薬科学)	0.77	平成19年度			
医療情報学専攻	3	3	9	博士(薬科学又は薬科学)	1.00	平成19年度			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専任	准教授	神谷 浩二	平成29年4月	専任	教授	神谷 浩二	平成29年4月	担当教員の職名変更(昇任)(29)
専任	准教授	大谷 具幸	平成29年4月	専任	教授	大谷 具幸	平成29年4月	担当教員の職名変更(昇任)(29)
専任	准教授	村上 茂之	平成29年4月	専任	教授	村上 茂之	平成29年4月	担当教員の職名変更(昇任)(29)
				専任	准教授	森部 純嗣	平成29年4月	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
				専任	助教	川瀬 真弓	平成29年4月	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
				兼任	准教授	リム リーフ	平成29年4月	Bioanalytical Sciences 教育効果を高めるため、科目を追加(29)

					兼任 教授	嶋 睦宏	平成29年4月		教育効果を高めるため、科目を追加(29)
--	--	--	--	--	-------	------	---------	--	----------------------

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の**就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**, 当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
5	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
12	11	0	3	26	15	9	0	4	28	15	9	0	4	28
(15)	(9)	(0)	(4)	(28)						[ 3 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
26	0	0			26	0	2			26	0	2		
(26)	(0)	(2)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
〇〇 人	必修 : 〇〇 科目	必修	: 〇〇 科目	必修	: 〇〇 科目	必修	: 〇〇 科目
	選択 : 〇〇 科目	選択	: 〇〇 科目	選択	: 〇〇 科目	選択	: 〇〇 科目
	自由 : 〇〇 科目	自由	: 〇〇 科目	自由	: 〇〇 科目	自由	: 〇〇 科目
	計 : 〇〇 科目	計	: 〇〇 科目	計	: 〇〇 科目	計	: 〇〇 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>アドバンスドグローバルコース (AGC)</p> <p>これまでの工学研究科、応用生物科学研究科で培われてきた特別教育プログラムを発展させ、工学分野および応用生物科学分野全般にわたり、国際社会で実践力を持つグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とした全専攻に提供される教育プログラム</p>	<p>アドバンスドグローバルプログラム (AGP)</p> <p>実際に海外における使い方や留学生も多いため、海外から誤解の受けないようにするためにアドバンスドグローバルプログラム (AGP) に変更</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自然科学技術研究科大学院委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 月1回の開催 委員会の構成員は、研究科長、副研究科長、工学部及び応用生物科学部の副学部長、各領域から選出された者</p> <p>c 委員会の審議事項等 主な審議事項は、教育課程の編成及び授業に関する事、授業科目の試験及び学業成績に関する事</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

未定

##### b 公表方法

未定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年9月1日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人岐阜大学

## (2) 大学名

岐阜大学

## (3) 大学の位置

〒501-1193  
岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
研究科長	ノノムラ シュウイチ 野々村 修一 平成29年4月		
専攻長等	ナカイ アサミ 仲井 朝美 平成29年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻  修士(工学)	工学関係	2年	67人	134人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成29年度	平成30年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	67人 ( ) [ - ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.20倍	
志願者数	104 ( 1 ) [ 4 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	98 ( 1 ) [ 3 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	88 ( 1 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	81 ( 1 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.20					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	81 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )					
2年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	
計	81 [ 2 ] ( - )				[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	81 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	81 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<自然科学研究科 物質・ものづくり工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	教授	准教授	講師	助手	助教				
研究科共通科目	実践英語	1・2通年	1		19 14	12 14					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	デザイン思考序論	1・2①,②	1		1	1	1			兼4	※1	教育効果を高めるため,担当教員追加(29)	
	Scientific Presentation	1・2③,④ 1・2③,④	1							兼2	※1	教育効果を高めるため,担当時期を変更(29)	
	知財論	1・2①,②	1							兼4			
	科学者倫理	1・2③,④	1							兼4			
	デザイン思考トレーニング	1・2③,④	1		1		1			兼4		教育効果を高めるため,担当教員追加(29)	
	リーダーシップ入門	1・2② 1・2③,④	1							兼5		教育効果を高めるため,担当時期を変更(29)	
	アカデミックキャリア	1・2通年	1		19 14	12 14					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	インターンシップA I	1・2通年	1		19 14	12 14					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	インターンシップA II	1・2通年	1		19 14	12 14					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	インターンシップB I	1・2通年	2		19 14	12 14					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	インターンシップB II	1・2通年	2		19 14	12 14					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	Global Internship	1・2通年	2		19 14	12 14					※2	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
小計(13科目)	—	4	12	0	19 14	13 14		1	兼20	—			
横断科目	先端生命科学特論	1・2④ 1・2③,④	1							兼8	オムニバス	教育効果を高めるため,担当時期を変更(29)	
	先端環境科学特論	1・2④ 1・2③,④	1							兼8	オムニバス	教育効果を高めるため,担当時期を変更(29)	
	先端創造科学特論	1・2④ 1・2③,④	1							兼6	オムニバス	教育効果を高めるため,担当時期を変更(29)	
	小計(3科目)	—	2	1	0	2			兼22	—			
専門研究科目	特別研究	1,2通年	8		19 14	12 14	10 14				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	演習 I	1・2通年	1		19 14	12 14	10 14				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	演習 II	1・2通年	1		19 14	12 14	10 14				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	演習 III	1・2通年	1		19 14	12 14	10 14				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	演習 IV	1・2通年	1		19 14	12 14	10 14				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	特別講義 I	1・2集中	1							兼1	※1		
	特別講義 II	1・2集中	1							兼1	※1		
	特別講義 III	1・2集中	1							兼1	※1		
	特別講義 IV	1・2集中	1							兼1	※1		
	小計(9科目)	—	12	4	0	19 14	12 14	10 14		兼4	—		
領域コア科目	物質化学	化学プロセス工学概論	1・2②	1		1	1	4					担当教員の職名変更(昇任)(29)
		材料化学特論	1・2①	1		2							
		有機材料化学特論	1・2①	1		1	4	1					担当教員の職名変更(昇任)(29)
		ソフトマター材料特論	1・2②	1		1	1						
		Advanced Materials Chemistry	1・2①	1		4						隔年※2	
		先端有機化学特論	1・2②	1		1						※1	
	設計生産	品質工学演習	1・2①	1		1	1					※講義	
		成形加工演習	1・2②	1		1	1	1				※実験	
		計測演習	1・2②	1		2						※実験	
		金型設計演習	1・2①	1		1	1					※講義	
		CAD/CAE金型設計演習	1・2①	1		1	1	1				※講義	
		CAD/CAM金型加工演習	1・2②	1		1	1	1				※実験	
		設計力学特論	1・2②	1		1	1					※1	
		金型材料学特論	1・2③	1		1	1					※1	担当教員決定(29)
		CAE特論	1・2①	1		2						※1	
小計(15科目)	—	0	15	0	14 14	6	4 5			—			
物質・ものづくり工学専攻	触媒工学特論	1・2②	1				2						
	溶液材料化学特論	1・2①	1		2	4						担当教員の職名変更(昇任)(29)	
	光エネルギー変換材料化学特論	1・2④	1		1		1						
	有機合成化学特論	1・2①	1		1	1	1					担当教員の職名変更(昇任)(29)	
	構造有機化学特論	1・2③	1		1	1	1						
	分子集合体設計特論	1・2④	1		1								
	高分子光計測特論	1・2③	1		1								
	先端高分子材料特論	1・2③	1		1	4						担当教員の職名変更(昇任)(29)	
	イオン導電性材料学	1・2③	1							兼1			
	再生可能エネルギー材料学	1・2③	1							兼1			
	機能性薄膜材料学	1・2②	1							兼1			
	バイオミメティック化学特論	1・2①	1							兼1	※1		
	生体触媒工学	1・2③	1							兼1	※1		
	Bioanalytical Sciences	1・2④	1							兼1	※2		
	Advanced Materials Science and Engineering	1・2①	1		1						隔年※2		
	Advanced Topics in Organic and Biomolecular Chemistry	1・2④	1							兼1	隔年※2		
	Advanced Topics in Medicinal Chemistry	1・2②	1							兼1	隔年※2		
Analytical Chemistry for Environmental Measurements	1・2③	1							兼2	隔年※2			
大気環境プロセス工学	1・2①	1							兼1	※1			
電子材料学特論	1・2④	1		1						隔年※1			

専 門 科 目	Advanced Topics in Polymer Science I	1・2②	1		3	2						隔年※2	担当教員の職名変更（昇任）(29)	
	Advanced Topics in Materials Chemistry	1・2②	1		1	3						隔年※2		
	Advanced Topics in Organic Chemistry II	1・2①	1			3						隔年※2		
	加工熱処理特論	1・2②	1		1	1								
	固相創形技術特論	1・2①	1		1	1								
	金型加工技術特論	1・2③	1			1						兼1		
	鍛造力学特論	1・2②	1		1									
	信頼性工学特論	1・2④	1		1							兼1		
	境界層理論	1・2③	1			1						兼1		
	生産システム制御論	1・2④	1			1						兼1		
	機械制御工学特論	1・2①	1									兼1	※1	
	知能機械特論	1・2③	1									兼1	※1	
	ロボットシステム工学論	1・2④	1									兼1	※1	
	生産技術特論	1・2③	1									兼1		
	エネルギー変換概論I	1・2①	1									兼8		
	流体工学特論	1・2②	1									兼1		
	熱力学特論	1・2①	1									兼1		
	機械力学特論	1・2③	1									兼1		
	熱エネルギー工学特論	1・2①	1									兼1		
	エネルギープロセス工学特論	1・2②	1									兼1		
	エネルギー変換プロセス工学	1・2③	1									兼1		
	燃焼工学	1・2②	1									兼1		
	非線形制御工学特論	1・2③	1									兼1		
	電磁流体システム工学	1・2②	1									兼1		
	人間支援工学特論	1・2③	1									兼1		
	Mechanical Energy Systems	1・2①	1									兼5	オムニバス※2	
	Combustion and Thermal Energy Utilization Engineering	1・2②	1									兼5	※2	
	Fluid Mechanics and Vibration Engineering	1・2③	1									兼3	※2	
	Vector and tensor analysis	1・2①	1									兼1	※2	
	Atmosphere and Ocean Dynamics	1・2④	1									兼1	※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	Advanced Earthquake Disaster Prevention	1・2①	1									兼1	隔年※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	Transport Studies for Sustainable Society	1・2②	1									兼1	隔年※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	Environmental Meteorology	1・2③	1									兼1	※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	工業の幾何学	1・2①	1									兼1	※1	
	人間情報工学特論	1・2④	1									兼1		教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
	セッションコントロール特論	1・2④	1									兼1		教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
材料解析特論	1・2①	1			1	1								
工業デザイン特論	1・2④	1			1						兼1			
環境配慮設計論	1・2④	1			1						兼1			
金型表面工学特論	1・2③	1			1	1								
液相創形技術特論	1・2③	1				2								
複合材料科学特論	1・2②	1			2	4							担当教員の職名変更（昇任）(29)	
小計 (62科目)			62		12	10					兼39			
小計 (56科目)		0	56		9	33					兼33			
合計 (102科目)			118		24	13	11				兼85			
合計 (96科目)			118		34	44	42				兼74			

※1 通常コース、アドバンスドグローバル~~ユニ~~プログラム共通科目  
 ※2 アドバンスドグローバル~~ユニ~~プログラム専用科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由計(A)		必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	86	0	96	10		92	102	
				[ 0 ]	[ 6 ]	[ 0 ]	[ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

全て該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{96} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	192,757㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	192,757㎡	その他の内、附属病院 62,890㎡			
	運動場用地	90,589㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	90,589㎡				
	小 計	283,346㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	283,346㎡				
	そ の 他	6,045,665㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,054,716㎡ (210,076㎡)	( )内は、借用地で外数			
	合 計	6,329,011㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,338,062㎡ (210,076㎡)				
(2) 校舎	専 用	195,928㎡	0㎡	0㎡	188,412㎡	大学全体			
	( 195,928㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 188,412㎡)	別途附属病院70,002㎡				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	41室	0室	0室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻			41 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位では特定 不能なため、大学 全体の数	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点
	冊	種	[うち外国書]						
	物質・ものづくり工学専攻	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238		
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238			
	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238			
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
	9,951㎡		712		959,578		大学全体		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4 既設大学等の状況

(岐阜大学)

大学の名称	岐阜大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
<学部>										
教育学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士(教育学)	1.03	平成10年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	0.98	昭和40年度		平成19年度、養護学校教員養成課程から名称変更	
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
地域政策学科	4	50	3年次	5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
地域文化学科	4	50	3年次	5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
医学科	6	110	3年次		645	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		平成13年度より学生受入	
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	平成3年度		平成14年度、土木工学科から名称変更	
機械工学科	4	130		520	学士(工学)	1.06	平成25年度			
化学・生命工学科	4	150		600	学士(工学)	1.08	平成25年度			
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士(工学)	1.06	平成25年度			
機械システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成14年度、応用精密化学から名称変更 平成25年度から学生募集停止	
電気電子工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
生命工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
応用情報学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止	
機能材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止	
人間情報システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止	
数理デザイン工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止	
(各学科共通)	4		3年次	30	60	学士(工学)	-			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1		
応用生命科学課程	4	80	3年次	5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成16年度		平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
生産環境科学課程	4	80	3年次	5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度		
共同獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度			
獣医学課程	6	-		-	学士(獣医学)	-	平成16年度		平成25年度から学生募集停止	

<b>&lt;大学院&gt;</b>									
<b>教育学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>教職大学院課程</b>									
教職実践開発専攻	2	25	50	教職修士(専門職)	0.98	平成20年度			
<b>修士課程</b>									
心理発達支援専攻	2	10	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度			
カリキュラム開発専攻	2	—	—	修士(教育学)	—	平成14年度			平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	34	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度			
教科教育専攻	2	—	—	修士(教育学)	—	平成7年度			平成25年度から学生募集停止
<b>地域科学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
地域政策専攻	2	12	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度			
地域文化専攻	2	8	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度			
<b>医学系研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
看護学専攻	2	8	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度			
<b>博士課程</b>									
医科学専攻	4	47	188	博士(医学)	0.75	平成14年度			
博士前期課程									
再生医科学専攻	2	—	—	修士(再生医科学)	—	平成14年度			平成29年度から学生募集停止
博士後期課程									
再生医科学専攻	3	6	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度			
<b>工学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>博士前期課程</b>									
社会基盤工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成3年度			平成18年度、土木工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成3年度			平成13年度、機械工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
応用化学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成13年度			平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
生命工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
応用情報学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
機能材料工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
人間情報システム工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
数理デザイン工学専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻	2	—	—	修士(工学)	—	平成11年度			平成29年度から学生募集停止
<b>博士後期課程</b>									
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.42	平成3年度			
物質工学専攻	3	3	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士(工学)	0.91	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士(工学)	0.33	平成11年度			平成13年度より学生受入
<b>自然科学技術研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
生命科学・化学専攻	2	82	164	修士(応用情報科学)	1.09	平成29年度			平成29年度より学生受入
生物生産環境科学専攻	2	44	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			平成29年度より学生受入
環境社会基盤工学専攻	2	29	58	修士(工学)	1.03	平成29年度			平成29年度より学生受入
物質・ものづくり工学専攻	2	67	134	修士(工学)	1.20	平成29年度			平成29年度より学生受入
知能理工学専攻	2	81	162	修士(工学)	1.23	平成29年度			平成29年度より学生受入
エネルギー工学専攻	2	72	144	修士(工学)	1.26	平成29年度			平成29年度より学生受入

応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
修士課程									
応用生命科学専攻	2	-	-	修士(応用生物科学)	-	平成20年度			平成25年度、資源生命科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
生産環境科学専攻	2	-	-	修士(応用生物科学)	-	平成20年度			平成25年度、生物環境科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
生物生産科学専攻	3	7	21	博士(農学)	0.66	平成3年度			
生物環境科学専攻	3	5	15	博士(農学)	0.93	平成3年度			
生物資源科学専攻	3	8	24	博士(農学)	1.25	平成3年度			
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
獣医学専攻	4	20	80	博士(獣医学)	1.37	平成2年度			
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
創薬科学専攻	3	3	9	博士(工学又は薬科学)	0.77	平成19年度			
医療情報学専攻	3	3	9	博士(薬科学又は薬科学)	1.00	平成19年度			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

## 5 教員組織の状況

<自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	未定	平成29年4月	金型材料学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	上坂 裕之	平成29年4月	金型材料学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の決定(29)
専任	准教授	武野 明義	平成29年4月	先端高分子材料特論 Advanced Topics in Polymer Science I 複合材料科学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	武野 明義	平成29年4月	先端高分子材料特論 Advanced Topics in Polymer Science I 複合材料科学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29)
専任	助教	吉川 泰晴	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV			後任未定			平成29年3月退職、後任未定(4月以降は専攻内の教員で担当)(29)
					専任	准教授	森部 絢嗣	平成29年4月	デザイン思考序論	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	准教授	伴 隆幸	平成29年4月	溶液材料化学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	伴 隆幸	平成29年4月	溶液材料化学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29)



専任	准教授	船曳 一正	平成29年4月	有機合成化学特論 有機材料化学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	船曳 一正	平成29年4月	有機合成化学特論 有機材料化学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29)
専任	助教	宮本 学	平成29年4月	化学プロセス 工学概論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	宮本 学	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 化学プロセス工学概論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
					専任	助教	川瀬 真弓	平成29年4月	デザイン思考序論 デザイン思考トレーニング	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
					兼任	教授	小林 智尚	平成29年4月	Atmosphere and Ocean Dynamics	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	准教授	小山 真紀	平成29年4月	Advanced Earthquake Disaster Prevention	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	教授	倉内 文孝	平成29年4月	Transport Studies for Sustainable Society	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	教授	玉川 一郎	平成29年4月	Environmental Meteorology	教育効果を高めるため、科目を追加(29)

					兼任	准教授	川村 拓也	平成29年4月	人間情報工学特論	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	准教授	伊藤 和晃	平成29年4月	モーションコントロール特論	教育効果を高めるため、科目を追加(29)

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
10 名	7 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
16	14	0	12	42	19	13	0	11	43	19	13	0	12	44
(19)	(13)	(0)	(11)	(43)						[ 3 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
38	4	0		38	3	2		38	4	2				
(38)	(3)	(2)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]				

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	助教	吉川 泰晴	必修	特別研究	①	退職のため就任辞退(29)	
			必修	演習Ⅰ	①		
			必修	演習Ⅱ	①		
			必修	演習Ⅲ	①		
			必修	演習Ⅳ	①		
合計(A)			後任補充状況の集計(B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任(27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任(29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計(C)			後任補充状況の集計(D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
1	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	5 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専攻内の他の教員で担当するため、教育の質は確保できている。  
また、学生への周知については、適宜、学生便覧、学生掲示板に示す等して、学生への周知徹底を行っている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>アドバンスドグローバルコース (AGC)</p> <p>これまでの工学研究科、応用生物科学研究科で培われてきた特別教育プログラムを発展させ、工学分野および応用生物科学分野全般にわたり、国際社会で実践力を持つグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とした全専攻に提供される教育プログラム</p>	<p>アドバンスドグローバルプログラム (AGP)</p> <p>実際に海外における使い方や留学生も多いため、海外から誤解の受けないようにするためにアドバンスドグローバルプログラム (AGP) に変更</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自然科学技術研究科大学院委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 月1回の開催 委員会の構成員は、研究科長、副研究科長、工学部及び応用生物科学部の副学部長、各領域から選出された者</p> <p>c 委員会の審議事項等 主な審議事項は、教育課程の編成及び授業に関すること、授業科目の試験及び学業成績に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

未定

##### b 公表方法

未定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年9月1日 )



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人岐阜大学

## (2) 大学名

岐阜大学

## (3) 大学の位置

〒501-1193  
岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
研究科長	ノノムラ シュウイチ 野々村 修一 平成29年4月		
専攻長等	ミヤサカ タケシ 宮坂 武志 平成29年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学技術研究科 知能理工学専攻  修士(工学)	工学関係	2年	81人	162人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成29年度	平成30年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	81人 ( ) [ - ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.23倍	
志願者数	109 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	109 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	102 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	100 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.23					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	100 [ 5 ] ( - )	- [ - ] ( - )					
2年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	
計	100 [ 5 ] ( - )				[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	100 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	100 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

### <自然科学研究科 知能理工学専攻>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自修	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	実践英語	1・2通年	1			21 20	24 22				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)	
	デザイン思考序論	1・2①,②	1			1	1		1		兼4	※1 教育効果を高めるため,担当教員追加(29)	
	Scientific Presentation	1・2③,④ 1・2①,②	1								兼2	※1 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	知財論	1・2①,②	1								兼4		
	科学者倫理	1・2③,④	1								兼4		
	デザイン思考トレーニング	1・2③,④	1			1			1		兼4	教育効果を高めるため,担当教員追加(29)	
	リーダーシップ入門	1・2② 1・2①,②	1								兼5	教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	アカデミックキャリア	1・2通年	1			21 20	24 22					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)
	インターシップA I	1・2通年	1			21 20	24 22					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)
	インターシップA II	1・2通年	1			21 20	24 22					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)
	インターシップB I	1・2通年	2			21 20	24 22					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)
	インターシップB II	1・2通年	2			21 20	24 22					※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)
	Global Internship	1・2通年	2			21 20	24 22					※2	担当教員の職名変更(昇任)(29) 担当教員決定(29)
小計(13科目)	—	—	4	12	0	21 20	24 22		1	兼19	—		
横断科目	先端生命科学特論	1・2④ 1・2①,②	1								兼8	オムニバス 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	先端環境科学特論	1・2④ 1・2①,②	1								兼8	オムニバス 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	先端創造科学特論	1・2④ 1・2①,②	1			2					兼6	オムニバス 教育効果を高めるため,配当時期を変更(29)	
	小計(3科目)	—	—	2	1	0				兼21	—		
専門研究科目	特別研究	1,2通年	8			21 20	24 22		12 14		※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため,担当教員決定(29)	
	演習 I	1・2通年	1			21 20	24 22		12 14		※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため,担当教員決定(29)	
	演習 II	1・2通年	1			21 20	24 22		12 14		※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため,担当教員決定(29)	
	演習 III	1・2通年	1			21 20	24 22		12 14		※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため,担当教員決定(29)	
	演習 IV	1・2通年	1			21 20	24 22		12 14		※1	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため,担当教員決定(29)	
	特別講義 I	1・2集中	1								兼1	※1	
	特別講義 II	1・2集中	1								兼1	※1	
	特別講義 III	1・2集中	1								兼1		
	特別講義 IV	1・2集中	1								兼1		
	小計(9科目)	—	—	12	4	0	21 20	24 22		12 14	兼4	—	
領域コア科目	知能機械	機械制御工学特論	1・2①	1		1						※1	
	知能機械特論	1・2③	1		1							※1	
	ロボティクスシステム工学論	1・2④	1		1							※1	
	人間支援工学特論	1・2③	1		1							※1	
	知能情報学	パターン認識特論	1・2①	1		1	1					※1	
	データマイニング特論	1・2①	1		1	1		4				※1	担当教員の職名変更(昇任)(29)
	機械学習特論	1・2②	1		1							※1	
	数値解析特論	1・2①	1		1							※1	
	計算理論特論	1・2②	1		1							※1	
	応用数学特論	1・2④	1		1							※1	担当教員決定(29)
	応用数学物理	微分方程式特論	1・2②	1		1						※1	
	物性物理特論	1・2①	1		1							※1	
	計算物理特論	1・2②	1		1							※1	
	力学系理論特論	1・2①	1		1							※1	
	理論物理特論	1・2③	1		1							※1	
小計(15科目)	—	—	0	15	0	11	5 4	4			—		
知能理工学専攻	知能理工課題解決型学習	1・2①	1		2	4						※1	
	工業の幾何学	1・2①	1		1							※1	
	生産技術特論	1・2②	1		1							※1	
	電磁流体システム工学	1・2②	1		1							※1	
	非線形制御工学特論	1・2③	1		1							※1	
	テンソル解析入門	1・2①	1		1							※1	
	金型材料科学特論	1・2③	1						1			兼1	
	加工熱処理特論	1・2②	1									兼2	
	創形技術特論	1・2①	1									兼2	
	金型加工技術特論	1・2③	1									兼2	
	設計力学特論	1・2②	1									兼2	
	CAE特論	1・2①	1									兼2	
	信頼性工学特論	1・2④	1									兼2	
	生産システム制御論	1・2④	1		1							兼1	
	流体工学特論	1・2②	1									兼1	
	熱力学特論	1・2①	1									兼1	
	機械力学特論	1・2③	1									兼1	
	境界層理論	1・2②	1									兼1	
	燃焼工学	1・2②	1									兼1	
	エネルギー変換概論I	1・2①	1									兼8	
	エネルギー変換プロセス工学	1・2②	1									兼1	
	Vector and Tensor Analysis	1・2①	1		1							※2	
	Combustion and Thermal Energy Utilization Engineering	1・2②	1									兼5	※2
	Fluid Mechanics and Vibration Engineering	1・2②	1									兼3	※2
Bioanalytical Sciences	1・2④	1									兼1	※2 教育効果を高めるため,科目を追加(29)	
Advanced Materials Science and Engineering	1・2①	1									兼1	※2 教育効果を高めるため,科目を追加(29)	
Atmosphere and Ocean Dynamics	1・2④	1									兼1	※2 教育効果を高めるため,科目を追加(29)	

専門科目	Advanced Earthquake Disaster Prevention	1・2①	1						兼1	隔年※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)	
	Transport Studies for Sustainable Society	1・2②	1						兼1	隔年※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)	
	Environmental Meteorology	1・2③	1						兼1	※2	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)	
	通信理論特論	1・2③	1				1			※1		
	メディア情報処理特論	1・2③	1		1		4			※1	担当教員の職名変更 (昇任) (29)	
	符号理論特論	1・2④	1	1						※1		
	オペレーションズ・リサーチ特論	1・2④	1	1						※1		
	暗号理論特論	1・2③	1	1						※1		
	応用信号処理	1・2③	1	1								
	先端人工知能	1・2②	1	1								
	コンピュータビジョン	1・2③	1	1								
	VRとヒューマンインターフェイス	1・2②	1	1								
	生体システム特論	1・2④	1				1					
	先端有限要素法特論	1・2③	1	1								
	応用画像工学	1・2③	1	1								
	情報ネットワーク特論	1・2③	1	1								
	自然言語処理	1・2②	1	1								
	シミュレーション技法	1・2④	1	1	4						担当教員の職名変更 (昇任) (29)	
	偏微分方程式論	1・2④	1	1							※1	
	回折結晶学特論	1・2③	1	1							※1	
	応用幾何学	1・2②	1	1							※1	
	応用代数学	1・2④	1	1								
	量子物理学特論	1・2②	1	1								
	プラズマ科学特論	1・2④ 1・2④	1							兼5	教育効果を高めるため、配当時期を変更 (29)	
	メディア通信とその応用	1・2②	1	1							教育効果を高めるため、科目を追加 (29)	
	人間情報工学特論	1・2④	1	1							教育効果を高めるため、科目を追加 (29)	
	モーションコントロール特論	1・2④	1	1							教育効果を高めるため、科目を追加 (29)	
	統計力学特論	1・2③	1	1							※1	
	非線形科学	1・2②	1	1								
	代数学特論	1・2③	1	1								
	実解析学特論	1・2④	1	1								
	関数解析学特論	1・2③	1	1								
	地球環境計測工学	1・2④	1	1								
	ナノサイエンス特論	1・2④	1	1						兼4		
	ナノ材料特論	1・2②	1	1						兼4		
	光物性工学特論	1・2③	1				1					
	先端情報技術論 I	1・2④	1	1						兼1		
	先端情報技術論 II	1・2②	1	1						兼1		
	人間情報学	1・2④	1	1								
	小計 (66科目)			66		21	4			兼31		
	小計 (47科目)		0	66	0	14	4			兼25		
	合計 (106科目)			98		21	25	13		兼75		
	合計 (97科目)		18	80	0	20	29	14		兼60		

※1 通常コース、アドバンスドグローバルコースプログラム共通科目  
 ※2 アドバンスドグローバルコースプログラム専用科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成28年度に認可 (届出) された大学等は設置認可 (届出) 時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度認可以前) についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
科目 10	科目 87	科目 0	科目 97	科目 10	科目 96	科目 0	科目 106	
				[ 0 ]	[ 9 ]	[ 0 ]	[ 9 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

全て該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{97} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	192,757㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	192,757㎡	その他の内、附属病院 62,890㎡			
	運動場用地	90,589㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	90,589㎡				
	小 計	283,346㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	283,346㎡	( )内は、借用地で外数			
	そ の 他	6,045,665㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,054,716㎡ (210,076㎡)				
	合 計	6,329,011㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,338,062㎡ (210,076㎡)				
(2) 校 舎	専 用	195,928㎡	0㎡	0㎡	188,412㎡	大学全体			
	( 195,928㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 188,412㎡)	別途附属病院70,002㎡				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	41室	0室	0室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	自然科学技術研究科 知能理工学専攻			57 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	専攻単位では特定 不能なため、大学 全体の数	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点
	冊	種	[うち外国書]						
	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238			
知能理工学専攻	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238			
計	905,757	24,032	7,268	4,331	6,487	2,238			
	905,757[303,075]	24,032[11,722]	7,268[6,048]	4,331	6,487	2,238			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	9,951㎡		712		959,578		大学全体		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



## 4 既設大学等の状況

(岐阜大学)

大学の名称	岐阜大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部> 教育学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士(教育学)	1.03	平成10年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	0.98	昭和40年度		平成19年度、養護学校教員養成課程から名称変更
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域政策学科	4	50	3年次 5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
地域文化学科	4	50	3年次 5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医学科	6	110	3年次	645	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		平成13年度より学生受入
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	平成3年度		平成14年度、土木工学科から名称変更
機械工学科	4	130		520	学士(工学)	1.06	平成25年度		
化学・生命工学科	4	150		600	学士(工学)	1.08	平成25年度		
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士(工学)	1.06	平成25年度		
機械システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成14年度、応用精密化学から名称変更 平成25年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
生命工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用情報学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
機能材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
人間情報システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
数理デザイン工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
(各学科共通)	4		3年次 30	60	学士(工学)	-			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
応用生命科学課程	4	80	3年次 5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成16年度		平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
生産環境科学課程	4	80	3年次 5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度		
共同獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度		
獣医学課程	6	-		-	学士(獣医学)	-	平成16年度		平成25年度から学生募集停止

<b>&lt;大学院&gt;</b>									
<b>教育学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>教職大学院課程</b>									
教職実践開発専攻	2	25	50	教職修士(専門職)	0.98	平成20年度			
<b>修士課程</b>									
心理発達支援専攻	2	10	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度			
カリキュラム開発専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成14年度			平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	34	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度			
教科教育専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成7年度			平成25年度から学生募集停止
<b>地域科学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
地域政策専攻	2	12	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度			
地域文化専攻	2	8	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度			
<b>医学系研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
看護学専攻	2	8	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度			
<b>博士課程</b>									
医科学専攻	4	47	188	博士(医学)	0.75	平成14年度			
博士前期課程									
再生医科学専攻	2	-	-	修士(再生医科学)	-	平成14年度			平成29年度から学生募集停止
博士後期課程									
再生医科学専攻	3	6	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度			
<b>工学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>博士前期課程</b>									
社会基盤工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成18年度、土木工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成13年度、機械工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
応用化学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
生命工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
応用情報学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
機能材料工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
人間情報システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
数理デザイン工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成11年度			平成29年度から学生募集停止
<b>博士後期課程</b>									
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.42	平成3年度			
物質工学専攻	3	3	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士(工学)	0.91	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士(工学)	0.33	平成11年度			平成13年度より学生受入
<b>自然科学技術研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
生命科学・化学専攻	2	82	164	修士(応用情報システム工学)	1.09	平成29年度			平成29年度より学生受入
生物生産環境科学専攻	2	44	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			平成29年度より学生受入
環境社会基盤工学専攻	2	29	58	修士(工学)	1.03	平成29年度			平成29年度より学生受入
物質・ものづくり工学専攻	2	67	134	修士(工学)	1.20	平成29年度			平成29年度より学生受入
知能理工学専攻	2	81	162	修士(工学)	1.23	平成29年度			平成29年度より学生受入
エネルギー工学専攻	2	72	144	修士(工学)	1.26	平成29年度			平成29年度より学生受入

応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
修士課程									
応用生命科学専攻	2	-		-	修士(応用生物学)	-	平成20年度		平成25年度、資源生命科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
生産環境科学専攻	2	-		-	修士(応用生物学)	-	平成20年度		平成25年度、生物環境科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
生物生産科学専攻	3	7		21	博士(農学)	0.66	平成3年度		
生物環境科学専攻	3	5		15	博士(農学)	0.93	平成3年度		
生物資源科学専攻	3	8		24	博士(農学)	1.25	平成3年度		
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
獣医学専攻	4	20		80	博士(獣医学)	1.37	平成2年度		
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程									
創薬科学専攻	3	3		9	博士(工学又は薬科学)	0.77	平成19年度		
医療情報学専攻	3	3		9	博士(医科学又は薬科学)	1.00	平成19年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学技術研究科 知能理工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	田中 雅宏	平成29年4月	シミュレーション技法 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	教授	田中 雅宏	平成29年4月	シミュレーション技法 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29)
専任	助教	未定	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	助教	今井 敬吾	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の決定(29)
専任	准教授	未定	平成29年4月	応用数学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	近藤 信太郎	平成29年4月	応用数学特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の決定(29)
専任	助教	未定	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	助教	佐藤 惇哉	平成29年4月	特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の決定(29)
					専任	准教授	森部 絢嗣	平成29年4月	デザイン思考序論	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	助教	志賀 元紀	平成29年4月	データマイニング特論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	志賀 元紀	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship データマイニング特論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	助教	田村 哲嗣	平成29年4月	メディア情報処理特論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	田村 哲嗣	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターンシップA I インターンシップA II インターンシップB I インターンシップB II Global Internship メディア情報処理特論 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)

専任	准教授	未定	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターン シップA I インターン シップA II インターン シップB I インターン シップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	伊藤 和晃	平成29年4月	モーションコン トロール特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	担当教員の決定 (29)
					専任	助教	川瀬 真弓	平成29年4月	デザイン思考序 論 デザイン思考ト レーニング	教育効果を高めるため、担当教員追加 (29)
専任	准教授	川村 拓也	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターン シップA I インターン シップA II インターン シップB I インターン シップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	川村 拓也	平成29年4月	人間情報工学特 論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	教育効果を高めるため、科目追加 (29)
専任	准教授	毛利 公美	平成29年4月	実践英語 アカデミック キャリア インターン シップA I インターン シップA II インターン シップB I インターン シップB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	専任	准教授	毛利 公美	平成29年4月	メディア通信と その応用 実践英語 アカデミック キャリア インターンシッ プA I インターンシッ プA II インターンシッ プB I インターンシッ プB II Global Internship 特別研究 演習 I 演習 II 演習 III 演習 IV	教育効果を高めるため、科目追加 (29)
					兼任	准教授	リム リーウ	平成29年4月	Bioanalytical Sciences	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任	教授	嶋 睦宏	平成29年4月	Advanced Materials Science and Engineering	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任	教授	小林 智尚	平成29年4月	Atmosphere and Ocean Dynamics	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任	准教授	小山 真紀	平成29年4月	Advanced Earthquake Disaster Prevention	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任	教授	倉内 文孝	平成29年4月	Transport Studies for Sustainable Society	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)
					兼任	教授	玉川 一郎	平成29年4月	Environmental Meteorology	教育効果を高めるため、科目を追加 (29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
12	8	3
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)一② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
20	22	0	14	56	21	25	0	13	59	21	25	0	13	59
(21)	(25)	(0)	(13)	(59)						[ 1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 3 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
49	6	1			49	7	3			49	7	3		
(49)	(7)	(3)								[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。



(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <自然科学技術研究科 知能理工学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>アドバンスドグローバルコース (AGC)</p> <p>これまでの工学研究科、応用生物科学研究科で培われてきた特別教育プログラムを発展させ、工学分野および応用生物科学分野全般にわたり、国際社会で実践力を持つグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とした全専攻に提供される教育プログラム</p>	<p>アドバンスドグローバルプログラム (AGP)</p> <p>実際に海外における使い方や留学生も多いため、海外から誤解の受けないようにするためにアドバンスドグローバルプログラム (AGP) に変更</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自然科学技術研究科大学院委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 月1回の開催 委員会の構成員は、研究科長、副研究科長、工学部及び応用生物科学部の副学部長、各領域から選出された者</p> <p>c 委員会の審議事項等 主な審議事項は、教育課程の編成及び授業に関すること、授業科目の試験及び学業成績に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

未定

##### b 公表方法

未定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年9月1日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人岐阜大学

## (2) 大学名

岐阜大学

## (3) 大学の位置

〒501-1193  
岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
研究科長	ノノムラ シュウイチ 野々村 修一 平成29年4月		
専攻長等	ササキ シゲオ 佐々木 重雄 平成29年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学技術研究科 エネルギー工学専攻  修士(工学)	工学関係	2年	72人	144人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	平成29年度	平成30年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	72人 ( ) [ - ]	-人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.26倍	
志願者数	104 ( - ) [ 9 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	102 ( - ) [ 9 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	96 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	91 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.26					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	91 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	91 [ 7 ] ( - )		[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	91 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	91 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他



## 2 授業科目の概要

＜自然科学研究科 エネルギー工学専攻＞

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考	
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	実践英語	1・2通年	1		19	13					※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
	デザイン思考序論	1・2①、②	1		1	1	1		兼4	※1 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	Scientific Presentation	1・2③、④ 1・2①、②	1						兼2	※1 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	知財論	1・2①、②	1						兼4		
	科学者倫理	1・2③、④	1						兼4		
	デザイン思考トレーニング	1・2③、④	1		1		1		兼4	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	リーダーシップ入門	1・2② 1・2①、②	1						兼5	教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	アカデミックキャリア	1・2通年	1		19	13				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターンシップA I	1・2通年	1		19	13				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターンシップA II	1・2通年	1		19	13				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターンシップB I	1・2通年	2		19	13				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	インターンシップB II	1・2通年	2		19	13				※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	Global Internship	1・2通年	2		19	13				※2 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
小計(13科目)	—	4	12	0	19	14		1	兼19	—	
横断科目	先端生命科学特論	1・2④ 1・2①、②	1						兼8	オムニバス 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	先端環境科学特論	1・2④ 1・2①、②	1						兼8	オムニバス 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	先端創造科学特論	1・2④ 1・2①、②	1		2				兼6	オムニバス 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	小計(3科目)	—	2	1	0	2			兼21	—	
専門研究科目	特別研究	1・2通年	8		19	13	8			※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 I	1・2通年	1		19	13	8			※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 II	1・2通年	1		19	13	8			※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 III	1・2通年	1		19	13	8			※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	演習 IV	1・2通年	1		19	13	8			※1 担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)	
	環境リーダー育成特別演習	1・2③、④	1						兼2	※1	
	特別講義 I	1・2集中	1						兼1	※1	
	特別講義 II	1・2集中	1						兼1	※1	
	特別講義 III	1・2集中	1						兼1	※1	
	特別講義 IV	1・2集中	1						兼1	※1	
	リモートセンシング水環境計測特論	1・2集中	1		1				兼4	※1	
	アジア水環境動態特論	1・2集中	1						兼5	※1	
	アジア水処理技術特論	1・2集中	1						兼5	※1	
	小計(13科目)	—	12	8	0	19	13	8	8	兼19	—
領域コア科目	エネルギー変換概論I	1・2①	1		5	3				オムニバス	
	エネルギー変換概論II	1・2②	1		4	2	1			オムニバス	
	環境エネルギー概論	1・2③	1						兼8	オムニバス	
	Renewable Energy Systems	1・2②	1		2	3				オムニバス※2	
	Environmental Systems	1・2②	1		3	1	1			オムニバス※2	
	Mechanical Energy Systems	1・2①	1		4	1				オムニバス※2	
	固体電子特論	1・2①	1		4	3	2			オムニバス 担当教員の職名変更(29)	
	エネルギーシステム工学特論	1・2②	1		1						
	電子情報工学特論	1・2①	1		1	1					
	制御工学特論	1・2①	1		1						
	固体新材料特論	1・2②	1		5	2				オムニバス	
	電子回路工学特論	1・2④	1		1					※1	
	電気設備システム工学特論	1・2③	1		1					※1	
	半導体光物性特論	1・2③	1		1					※1	
小計(14科目)	—	0	14	0	16	10	1		兼8	—	
環境工学専攻	大気環境プロセス工学	1・2①	1		1					※1	
	環境プロセス解析	1・2②	1		1				兼1	※1	
	水質制御工学	1・2③	1		1				兼1	※1	
	水環境科学特論	1・2①	1		1				兼1	※1	
	先端水質制御工学	1・2④	1		1				兼2	※1	
	地域環境文化特論	1・2①、②	1		1				兼2	隔年※1	
	地球環境文化特論	1・2③、④	1		1				兼2	隔年※1	
	地域環境社会特論	1・2①、②	1		1				兼2	隔年※1	
	地球環境社会特論	1・2③、④	1		1				兼2	隔年※1	
	金型材料科学特論	1・2③	1		1				兼2	※1	
	設計力学特論	1・2②	1		1				兼2	※1	
	CAD特論	1・2①	1		1				兼2	※1	
	機械制御工学特論	1・2①	1		1				兼1	※1	
	知能機械特論	1・2③	1		1				兼1	※1	
	ロボットシステム工学論	1・2④	1		1				兼1	※1	
	物性物理特論	1・2①	1		1				兼1	※1	
	回折結晶学特論	1・2③	1		1				兼1	※1	
	工業の幾何学	1・2①	1		1				兼1	※1	
	環境基礎科学	1・2② 1・2①、②	1		1				兼1	※1 教育効果を高めるため、配当時期を変更(29)	
	流体工学特論	1・2②	1		1						
	熱力学特論	1・2①	1		1						
	機械力学特論	1・2③	1		1						
	境界層理論	1・2③	1		1				兼1		



全て該当なし

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 その他の内、附属病院 62,890㎡ ( )内は、借用地で外数		
	校舎敷地	192,757㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	192,757㎡			
	運動場用地	90,589㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	90,589㎡			
	小 計	283,346㎡ (0㎡)	0㎡	0㎡	283,346㎡			
	そ の 他	6,045,665㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,054,716㎡ (210,076㎡)			
	合 計	6,329,011㎡ (210,076㎡)	9,051㎡	0㎡	6,338,062㎡ (210,076㎡)			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 別途附属病院70,002㎡		
		195,928㎡ ( 195,928㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	188,412㎡ ( 188,412㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	41室	0室	0室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	自然科学技術研究科 エネルギー工学専攻			40 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位では特定 不能なため、大学 全体の数
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	エネルギー工学専攻	905,757 905,757[303,075]	24,032 24,032[11,722]	7,268 7,268[6,048]	4,331 4,331	6,487 6,487	2,238 2,238	
計	905,757 905,757[303,075]	24,032 24,032[11,722]	7,268 7,268[6,048]	4,331 4,331	6,487 6,487	2,238 2,238		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
	9,951㎡	712	959,578	大学全体				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,616㎡	弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

(岐阜大学)

大学の名称	岐阜大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部> 教育学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士(教育学)	1.03	平成10年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士(教育学)	0.98	昭和40年度		平成19年度、養護学校教員養成課程から名称変更
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域政策学科	4	50	3年次 5	210	学士(地域科学)	1.08	平成18年度		
地域文化学科	4	50	3年次 5	210	学士(地域科学)		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医学科	6	110	3年次	645	学士(医学)	1.00	昭和39年度		
看護学科	4	80	10	340	学士(看護学)	1.00	平成12年度		平成13年度より学生受入
工学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学科	4	60		240	学士(工学)	1.06	平成3年度		平成14年度、土木工学科から名称変更
機械工学科	4	130		520	学士(工学)	1.06	平成25年度		
化学・生命工学科	4	150		600	学士(工学)	1.08	平成25年度		
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士(工学)	1.06	平成25年度		
機械システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用化学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成14年度、応用精密化学から名称変更 平成25年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
生命工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用情報学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
機能材料工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
人間情報システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
数理デザイン工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
(各学科共通)	4		3年次 30	60	学士(工学)	-			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸1番1	
応用生命科学課程	4	80	3年次 5	330	学士(応用生物科学)	1.07	平成16年度		平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
生産環境科学課程	4	80	3年次 5	330	学士(応用生物科学)	1.03	平成16年度		
共同獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.04	平成25年度		
獣医学課程	6	-		-	学士(獣医学)	-	平成16年度		平成25年度から学生募集停止

<b>&lt;大学院&gt;</b>									
<b>教育学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>教職大学院課程</b>									
教職実践開発専攻	2	25	50	教職修士(専門職)	0.98	平成20年度			
<b>修士課程</b>									
心理発達支援専攻	2	10	20	修士(教育学)	0.85	平成20年度			
カリキュラム開発専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成14年度			平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	34	68	修士(教育学)	1.16	平成25年度			
教科教育専攻	2	-	-	修士(教育学)	-	平成7年度			平成25年度から学生募集停止
<b>地域科学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
地域政策専攻	2	12	24	修士(地域科学)	0.29	平成13年度			
地域文化専攻	2	8	16	修士(地域科学)	1.87	平成13年度			
<b>医学系研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
看護学専攻	2	8	16	修士(看護学)	0.68	平成17年度			
<b>博士課程</b>									
医科学専攻	4	47	188	博士(医学)	0.75	平成14年度			
博士前期課程									
再生医科学専攻	2	-	-	修士(再生医科学)	-	平成14年度			平成29年度から学生募集停止
博士後期課程									
再生医科学専攻	3	6	18	博士(再生医科学)	0.27	平成14年度			
<b>工学研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>博士前期課程</b>									
社会基盤工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成18年度、土木工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
機械システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成3年度			平成13年度、機械工学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
応用化学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
生命工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
応用情報学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成13年度			平成29年度から学生募集停止
機能材料工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
人間情報システム工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
数理デザイン工学専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成18年度			平成29年度から学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻	2	-	-	修士(工学)	-	平成11年度			平成29年度から学生募集停止
<b>博士後期課程</b>									
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士(工学)	1.42	平成3年度			
物質工学専攻	3	3	9	博士(工学)	1.22	平成3年度			
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士(工学)	0.91	平成3年度			
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士(工学)	0.33	平成11年度			平成13年度より学生受入
<b>自然科学技術研究科</b>									岐阜県岐阜市柳戸1番1
<b>修士課程</b>									
生命科学・化学専攻	2	82	164	修士(応用情報科学)	1.09	平成29年度			平成29年度より学生受入
生物生産環境科学専攻	2	44	88	修士(応用生物科学)	1.11	平成29年度			平成29年度より学生受入
環境社会基盤工学専攻	2	29	58	修士(工学)	1.03	平成29年度			平成29年度より学生受入
物質・ものづくり工学専攻	2	67	134	修士(工学)	1.20	平成29年度			平成29年度より学生受入
知能理工学専攻	2	81	162	修士(工学)	1.23	平成29年度			平成29年度より学生受入
エネルギー工学専攻	2	72	144	修士(工学)	1.26	平成29年度			平成29年度より学生受入

応用生物科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
修士課程									
応用生命科学専攻	2	-		-	修士（応用生物学）	-	平成20年度		平成25年度、資源生命科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
生産環境科学専攻	2	-		-	修士（応用生物学）	-	平成20年度		平成25年度、生物環境科学専攻から名称変更 平成29年度から学生募集停止
連合農学研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
博士課程									
生物生産科学専攻	3	7		21	博士（農学）	0.66	平成3年度		
生物環境科学専攻	3	5		15	博士（農学）	0.93	平成3年度		
生物資源科学専攻	3	8		24	博士（農学）	1.25	平成3年度		
連合獣医学研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
博士課程									
獣医学専攻	4	20		80	博士（獣医学）	1.37	平成2年度		
連合創薬医療情報研究科								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
博士課程									
創薬科学専攻	3	3		9	博士（工学又は薬科学）	0.77	平成19年度		
医療情報学専攻	3	3		9	博士（薬科学又は薬科学）	1.00	平成19年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<自然科学技術研究科 エネルギー工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専任	助教	ウ ティン	平成29年4月	特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	助教	松岡 岳洋	平成29年4月	特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	専任	准教授	松岡 岳洋	平成29年4月	固体電子特論 高圧物質科学 実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップAⅠ インターンシ ップAⅡ インターンシ ップBⅠ インターンシ ップBⅡ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	担当教員の職名変更(昇任)(29) 教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
専任	助教	未定	平成29年4月	特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	専任	助教	早川 幸男	平成29年4月	特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	担当教員の決定(29)
専任	教授	柳瀬 俊次	平成29年4月	磁気工学特論 固体電子特論 実践英語 アカデミック キャリア インターン シップAⅠ インターン シップAⅡ インターン シップBⅠ インターン シップBⅡ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	兼任	講師	柳瀬 俊次	平成29年4月	磁気工学特論	平成29年3月退職、4月以降は兼任(非常勤講師) 磁気工学特論以外は、専攻内の教員で担当(29)
					専任	准教授	森部 絢嗣	平成29年4月	デザイン思考序論	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
					専任	准教授	久武 信太郎	平成29年4月	マイクロ波工学 特論 実践英語 アカデミック キャリア インターンシ ップAⅠ インターンシ ップAⅡ インターンシ ップBⅠ インターンシ ップBⅡ Global Internship 特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
					専任	助教	ジャ ヒマン シュ セカール	平成29年4月	特別研究 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 演習Ⅳ	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)



					専任	助教	川瀬 真弓	平成29年4月	デザイン思考序論 デザイン思考トレーニング	教育効果を高めるため、担当教員追加(29)
					兼任	教授	嶋 陸宏	平成29年4月	Advanced Materials Science and Engineering	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	准教授	リム リーワ	平成29年4月	Bioanalytical Sciences	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	准教授	小山 真紀	平成29年4月	Advanced Earthquake Disaster Prevention	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	教授	倉内 文孝	平成29年4月	Transport Studies for Sustainable Society	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	准教授	川村 拓也	平成29年4月	人間情報工学特論	教育効果を高めるため、科目を追加(29)
					兼任	准教授	伊藤 和晃	平成29年4月	モーションコントロール特論	教育効果を高めるため、科目を追加(29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
11	8	3
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
20	11	0	6	37	19	14	0	9	42	19	14	0	9	42
(19)	(14)	(0)	(9)	(42)						[ Δ1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 5 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	3	0			35	5	2			35	5	2		
(35)	(5)	(2)								[ 1 ]	[ 2 ]	[ 2 ]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	柳瀬 俊次	選択	磁気工学特論	②	退職のため就任辞退(29)				
			選択	実践英語	①					
			選択	アカデミックキャリア	①					
			選択	インターンシップA I	①					
			選択	インターンシップA II	①					
			選択	インターンシップB I	①					
			選択	インターンシップB II	①					
			必修	Global Internship	①					
			必修	特別研究	①					
			必修	演習 I	①					
			必修	演習 II	①					
			必修	演習 III	①					
			必修	演習 IV	①					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	6	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (27)				
			選択	◆◆基礎	②					
			必修	☆☆演習	③					
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任 (29)				
			必修	▲▲実習	③					
			必修	◇◇特論	①					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目
		選択	○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○	科目
		自由	○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○	科目
		計	○○	科目	計	○○	科目	計	○○	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修 : 6 科目	必修 : 6 科目	必修 : 0 科目	必修 : 0 科目	必修 : 0 科目
	選択 : 7 科目	選択 : 6 科目	選択 : 1 科目	選択 : 0 科目	選択 : 0 科目
	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目
	計 : 13 科目	計 : 12 科目	計 : 1 科目	計 : 0 科目	計 : 0 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専攻内の他の教員で担当及び本人が兼担で対応するため、教育の質は確保できている。 また、学生への周知については、適宜、学生便覧、学生掲示板に示す等して、学生への周知徹底を行っている。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <自然科学技術研究科 エネルギー工学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>アドバンスドグローバルコース (AGC)</p> <p>これまでの工学研究科、応用生物科学研究科で培われてきた特別教育プログラムを発展させ、工学分野および応用生物科学分野全般にわたり、国際社会で実践力を持つグローバルリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とした全専攻に提供される教育プログラム</p>	<p>アドバンスドグローバルプログラム (AGP)</p> <p>実際に海外における使い方や留学生も多いため、海外から誤解の受けないようにするためにアドバンスドグローバルプログラム (AGP) に変更</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自然科学技術研究科大学院委員会の設置</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 月1回の開催 委員会の構成員は、研究科長、副研究科長、工学部及び応用生物科学部の副学部長、各領域から選出された者</p> <p>c 委員会の審議事項等 主な審議事項は、教育課程の編成及び授業に関する事、授業科目の試験及び学業成績に関する事</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 なし</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

未定

##### b 公表方法

未定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年9月1日 )